

官報

號外

明治四十年三月十七日

日曜日

印刷局

第二十三回 衆議院議事速記録第十六號

明治四十年三月十六日(土曜日)午後一時十分開議

議事日程 第十五號 明治四十年三月十六日

午後一時開議

- 第一 海港檢疫法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二 市場法案(川島龍藏外) 第一讀會
- 第三 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(築山和一等) 第一讀會
- 第四 和歌山縣下郡界變更法律案(請願委員) 第一讀會
- 第五 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(請願委員) 第一讀會
- 第六 治安警察法中改正法律案(長提出) 第一讀會
- 第七 明治三十四年法律第二十七號中改正法律案(植場平外) 第一讀會
- 第八 煙草專賣法中改正法律案(福井三郎外) 第一讀會
- 第九 日本水產銀行法案(川島龍藏外) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十 漁業法中改正法律案(十二名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十一 災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案(大津淳一) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十二 北海道ニ市制ヲ施行スル法律案(内山吉太外) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十三 北海道會法中改正法律案(内山吉太外) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十四 北海道地方費法中改正法律案(六名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十五 府縣制中改正法律案(植場平外) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十六 鑛業法中改正法律案(丸山隆藏一) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十七 鐵道計畫ノ速成改善ニ關スル建議案(佐竹作太郎) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十八 明治三十三年勅令第三百三十二號廢止ニ關スル建議案(川島龍藏) (委員長報告)
- 第十九 製茶取締擴張補助ニ關スル建議案(松浦五兵衛) (委員長報告)
- 第二十 司法官ノ待遇ニ關スル建議案(宮古啓三郎外) (委員長報告)
- 第二十一 農事改良獎勵ニ關スル建議案(多田作兵衛) (委員長報告)

○議長(杉田定一君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

公共團體課稅ノ制限ニ關スル法律案

統監府及關東都督府等在勤官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案

統監府、關東都督府及樺太等在勤巡查看守及女監取締ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案

韓國ニ在勤スル居留民國立在外指定學校職員ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案

租稅其他ノ收入徵收處分囑託ニ關スル法律案

一 根本正君ヨリ小學校教員待遇ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

一 委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

樺太ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案

委員長 森 秀 次君

理事 阿部德三郎君

海港檢疫法中改正法律案

委員長 山根 正 次君

理事 榎木卿太郎君

一 決算委員ノ補選選舉ニ左ノ通り當選セラレタリ

神前 修三君

岩本 晴之君

澤田 耕治郎君

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

小學校教員待遇ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

明治四十年三月十四日

提出者 根本 正

贊成者 村松 愛藏

外二十八名

○議長(杉田定一君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮リ申スコトガアリマス、會期モ迫ミ

切迫ヲ致シマシタデ、議案ノ都合デハ開會日デナクモ會議ヲ開クコトニ致シタイト思ヒ

マスガ、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト認メマス、法律案ハ配付後二日ヲ經ナケレバ日

程ニ掲載スルコトガ出來ナイ規則ニナラズ居リマスガ、是モ時間ヲ短縮シテ掲載致シタ

イト思ヒマスガ、御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト認メマス、決算委員岩本晴之君病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリマシタ、許可シテ御異議アリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト認メマス、同君ハ第五部ノ選出デアリマシタ、第五部ノ諸君ハ補缺ノ選舉アラレンコトニ希望致シマス——根本正君

○根本正君 唯今報告ニナリマシタ小學校教員待遇ニ關スル質問書ヲ出シマシタカラシテ、簡單ニ其趣旨ヲ申述セマス、第一ノ質問ハ小學校教員ニ對スル待遇薄キガタメ、適任者ヲ得ル能ハザルノ傾向アリ、政府ハ増俸其他適宜ノ方法ヲ提案シ、普通教育ノ進捗ヲ完全セシムルノ意ナキカ、一、小學校教員ニ對スル乘車賃ヲ半減シ、陸海軍人及警察官吏等同一ノ制ヲ取ラシムルノ意ナキカ、此件々ハ昨年建議案ニ致シマシタ、既ニ滿場諸君ガ御賛成ニナリマシタ問題デアリマス、然ルニ未ダ是ト申スコトガ政府ノ提案ニナラズ居リマシタ、尤モ高等教育ニ關係シタコトハ、本年ノ議會ニ於キマシタソレヲ通過致シマシタアリマスガ、此普通教育ノコトニ付イテハ、何等ノ報告其他アリマセヌデス、此小學校教員ノ月給ノ薄イコトハ、諸君ノ御承知ノ通りデアリマシタ、何レノ國ニ較ベマシテモ、普通ノ文官ノ月給ニ較ベテ見マシタコトハ、非常ニ薄クナッテ居ル譯デアリマス、又政府モデス、此勅令ヲ以テマシテ小學校令ヲ以テ、市町村小學校長及名稱待遇ニ關スル勅令ヲ云フモノガアリマス、其勅令ニ依リマシタコトハ、校長正教員ハ判任官同一ノ待遇ヲ受テ、斯ウ云フ風ニナッテ、判任待遇ヲ受クルコトニナッテ居リマス、同時ニ此月給モヤハリ同シヤウニナッテハナラヌ、又サウ云フ風ニ始メハアツタノデ、所ガ普通判任ノ俸給ト云フモノハ、明治三十八年ニ改正セラレマシタ、十一圓ヨリ七十五圓マデノ間ニナリマシタ、即チ一番下ノモノガ三圓殖エマシタ、所ガ小學校ノ方ノ教員ノ勅令ト云フモノハ、明治三十三年ニ出マシタ、ヤハリ一番下ガ十圓カラ七十五圓トナッテ居リマス譯デアリマス、故ニ同政府デアリナガラ、一方ノ判任官ノ方ニハ改正メテ増給ヲサセ、此小學校ノ教員ノ方ニハ月給ノ制度ヲ改正シナシト云フコトガ、即チ甚ダ待遇ノ薄イコト云フコトヲ私ハ諸君ニ向テ訴ヘ證明スルコトガ出來ルモノデアリマス、此普通判任官ノ俸給ヲ調ベテ見マシタコトハ、先ヅ平均ニ二十八圓ノ對ニナッテ居リマス、所ガ此小學校ノ教員ノ月給ト云フモノハ、正教員ト云フモノハ今日受ケテ居ルトコロノ給料ハ、千五百七十八圓四千四百八十四圓ト申シマスノデ、其人數ト云フモノハ六萬八千九百七十八圓トナッテ居ル、故ニ平均ニシマシタコトハ、一人ノ月給ガ十六圓五十錢ニシカナラデ居ラス、即チ取扱ハ判任取扱ト云フ勅令ヲ出シテ置キナガラ、一方ハ改正シ、一方ハ改正シマセヌ故ニ、一方ノ方ハ平均二十七圓ノ多額ヲ取ツテ居ルニ、片々ハ十六圓幾ラト云フノデ、殆ド十圓ノ變化したコト云フモノヲ來シテ居ル譯デアリマス、此教員ト、其他ノ判任官、諸省ノ役人トノ間ニシテ差ガアルカト云ヘバ、却テ普通ノ役人ト云フモノハ朝九時ニ出テ四時ニ退ケルト云フノデ、ヤチント仕事ガ極デテ居リマスグレドモ、小學校教員ノ如キニナッテハ、其時間ヲ勤メテ居ルノミナラズ、其生徒ノ或ハ文章、或ハ習字其他ノモノヲ家ヘ歸テ來テ、夜其稿ヲ見ル、或ハ直スト云フヤウナ譯デアリマス、然ルニ一方ニハ改正シ、一方ニハ改正シナシト云フコトハ、誠ニ不都合デアリマス、故ニ政府ハ此事ニ付イテ十分ニ調査シナケレバナラヌと思ヒマス、擬テ斯ノ如クナッテ居ルノハ、ドウニ云フ譯デアルカト云フナラバ、即チ一方ノ方ハ國庫ヨ

(根本正君登壇)

リ支辨シテ居ル、一方ノ方ハ市町村ヨリ支辨シテ居ル譯デアリマス、ソレ故ニ市町村ノ村費ガ多クナリマスカラシタ、此市町村之ヲ増給スルコトガ出來ヌト云フコトデアデ、是ハ至極尤モデアリマス、故ニ此俸給ヲ國庫ヨリ支辨スルコト云フコトハ、既ニ昨年モ建議ヲ致シマシタ、此建議案ニ付キマシタハ文部大臣ヲ始め皆是ニツレノ出席サレテ、答辯ニモナラデ居リマスガ、其時分ニハ贊成ノ意ヲ漏シテ居リナガラ、是ヲ實行シナシト云フコトニナッテ居リマス、何故ニ此國庫カラ出スノト、地方カラ出スノト譯ガ違フデ居ルカト云ヘバ、此國稅デアラナラバ即チ金持ノ人ヨリ多ク出ス、即チ所得稅或ハ營業稅其他土地ヲ多ク持テ居ル人トカ、或ハ財産ヲ持テ居ル人カラ取リマス、ソレガ一旦國庫ニ這入デ、ソレヨリ又出シマスカラシタ、平均ニ配賦スルコトガ出來ル、然ルニ地方費ニナッテ見マシタ、即チ金ノ有ルトコロノ町或ハ金ノ無イトコロノ土地ト云フモノガ平均ヲシナイ、故ニ此増給スルコトモ出來ヌト云フ譯デアリマス、然ルニ此小學校ノコト、云フモノハ、王政以前ハ卒知ラズ、此文明即チ明治初年以來ト云フモノハ、國民教育トナッテ、吾々國民ガ兵隊ノタメニ四億何千、或ハ海陸軍ノタメニ幾萬出スト云フコト同ジク、小學校ニ於テモ國庫カラ出スノガ原則デアリマス、即チ佛蘭西ノ如キハ小學校教員ノ俸給ハ國費ヲ以テ支辨シテ居リマス、又亞米利加ノ如キハ勿論ノコトデアリマス、同ジク稅デアリマス、市町村稅ニシテ宜イモノデアルカ、國稅ニシテ宜イモノデアルカハ問題デアリマスガ、是ハ是非國稅ヲ以テセナケレバナラヌ、何トナレバ即チ國稅デアラナラバ東京市ノ如キ、大阪市ノ如キ、金持ガ所得稅其他ノ稅ヲ出シテ即チ國庫ヘ入レテ、ソレヨリ沖繩縣ヘモ往カウシ、或ハ其他ノ處ヘモ往カウシト云フヤウニ、人口ヲ以テ配賦スルコトガ出來ル、所ガ今日ノ法律ニ却テ反シテ居ルト云フノハ、此三府五港デアリマス、明治三十三年ノ小學校令ニ依ッテ、普通教育ハ月謝ヲ取ラヌト云フコトガ原則デ、ソレガ勅令ニナッテ發布ニナッテ居リマス、故ニ今日之ヲ取ラヌトコロノ縣々ガ澤山アデ、法律ヲ守テ居リマスカレドモ、此法律ヲ實際ニ行テ居ラヌ處ガアル、ソレハ何處デアルカト云ヘバ、斷然東京デアリマス、東京ハ明治三十三年ノ此勅令ニ依ラズシテ、唯但書ニ據テ月謝ヲ取ツテ居リマス、故ニ東京ニ居ルトコロノ子弟ト云フモノハ皆月謝ヲ納メナケレバナラヌ、地方ノ學生ハ月謝ヲ納メヌデモ宜イコト云フコトニナッテ居リマス、是ハ是非國庫ヨリ此小學校ノ教員ト云フモノ、月給ヲ支辨シテ、即チ各地方ノ如ク何レノ處ニ居リマシテモ、小學校ノ普通教育ニハ月謝ヲ取ラヌト云フコトニシナケレバナリマセヌ、是ハ東京ハ何故ニ月謝ヲ取ルカト云フコトハ、一番東京ハ金ノ有ル處デアリマス、是ハ何故ガカト云ヘバ、即チ稅デアリマスカラシタ、是ニ出テ居ルトコロノ市會議員デアルトカ、或ハ府會議員デアルトカ云フモノガ、此稅ニ反對スルコトデアリマス、故ニ今日東京ニ於テハ即チ地方ト違ッテ、小學校月謝ヲ二十錢デ、取ツテ居ルノデアリマス、高等ノ小學校ハ一圓或ハ八十錢ト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、而シテ國家ニ盡シテ居ルトコロノ人民ハ誰デアルカト云ヘバ、即チ却テ此地方ノ國民デアデ、東京ノ如キハ小學校一校デモ無月謝テ居ルトコロハアリマセヌ、其結果トシテ東京ニイロノ不都合ナモノガ澤山出來ルト云フコトハ、是ハ東京市民自ラ作ルノデアリマス、ソレハ何ヨリ出ルカト云ヘバ、中等以上ノ金持デアデ、教育ノ稅ヲ拒ンデ居ルトコロノモノデアリマス、故ニ是ハ文部省ニ於テヤハリ今日實際ニ行ハレテ居ルトコロノ増玉縣デアルトカ、或ハ鹿兒島縣デアルトカ、或ハ茨城縣デアルトカ、其他沖繩縣デアルトカ云フヤウナ縣々ト云フモノハ實際市デモ村デモ一錢モ月謝ハ取ツテ居リマセヌ、今日取ツテ居ル所ハ今申ス通り東京府ハ殘ラズ、其次ガ靜岡縣ニ於テハ約五分ノ一ト云フモノヲ取ツテ居リマス、其

次ニハ和歌山縣、富山縣ナドハ此小學校ノ或ル部分ニ於テ取テ居リマスルガ、斯ク同
「國民」ニテ同一「デナイト」コトヲ此教育ト云フモノヲ受ケルコトガ出來ナイト云フコトハ、
實ニ遺憾千萬アリマスル、故ニ政府ハ此事ニ付キマシテ所謂統一ヲシテ、サウシテ此一
般ニ普通教育ノ行ハレルヤウニシナケバナラス、又此待遇ニ付キマシテ同シ教員ヲ居リ
ナカラ、日本テ東京市テ持テコロノ試験免狀ト云フモノハ、大阪以テ役ヲシナイ、或
ハ千葉縣テ持テコロノ試験免狀ト云フモノハ、他ノ縣ヘ往テ役ヲシナイト云フヤウナ
不都合ガアリマス、此等モ政府ハ統一ヲシテ、同シ日本國中テアリマスルカシテ、其同シ
規則ノ下ニ試験ヲ受ケテ何レノ縣ヘ往テモ其教員ノ免狀ト云フモノハ役ヲシナケレバ
ラス、一方ノ判任官ノ試験ト云フモノハ、是ニ及第スレバ何處ヘ往テモ判任官ニナレルガ、
教員ハ或ル地方ダケニ止マルト云フコトニテ居ルノデアル、ソレ故ニ此受ケルコトコロノ俸
給ノ如キ、或ハ恩給ノ如キ、或ハ加俸ノ如キハ、同シ處ニ居レバ受ケルコトガ出來マスル
ガ、轉ジテ他ノ處ニ往ケバ之ヲ受ケルコトガ出來ヌト云フコトニテ居リマス、故ニ此教員
ノ待遇ト云フモノハ甚ダ不穩當デアッテ、公平デナイト云フコトハ明カデアリマス、即チ政
府ガ同シ官吏同様ニ扱フコトコロノ人ニ對シテ、一方ニハ厚ク、一方ニハ薄イト云フコトニ
ナッテ居リマスカラ、是モ改正ヲシナケレバナラスト思フデアリマス、マダ其他イロ／＼
「デナイト」云フコトヲ質問スルコトデアリマス、他ノ箇條ニ付イテハ此小學校ノ教員ニ對シテ
デス、陸海軍ノ軍人同様公用デ歩ル時分ニ汽車賃ヲ半減ニシタイト云フコトデアリマ
ス、是モ昨年建議ハ通過シマシタケレドモ、政府ハ實行ヲシナイ、政府ガ昨年答辯シテ
言フニハ、之ヲ許スナラバ他ノ少給ノ人ニモ許サナケレバナラスカラ、私設鐵道ノ方ハドウ
カ知ラスガ、官有ノ方ハ許スコトガ出來ヌト云フ答辯ガアリマス、所ガデス、昨午國有ニ
鐵道ガナリマシタ故ニ私設鐵道ノミナラズデス、官有即チ國有鐵道ニモ今日ハ即チ海軍
ノ人モ陸軍ノ人モ半額ニナッテ居リマス、即チ昨午此議場ニ於テ述べラレタ答辯ト
云フモノハ自ラ消滅シテ居ル、之ヲ見マスルナラバ即チ此小學校ノ教員ニモデス、唯私用
ヲ歩ク時ニスルノデハナイ、所謂夏ニ於テ休暇中所謂調査スルキデアルトカ、或ハ研究
スル時デアルトカ、所謂公用ヲ持テ歩ク時ダケ半額ニシタイト云フノガ建議ニモアリ、
又其事ヲ質問スルノデアリマスガ、即チ陸海軍ノ人ニハ之ヲ許シ、教育ニ關係シテ居ル
トコロノ小學校ノ教員ニ許サヌト云フ道理ハ決シタイト思ヒマス、即チ文武岐ナラズト
云フコトガアリマスガ、武ノ方ニハ熱心ニ働イテモ、即チ文ノ方ニ怠ラナラバ、決シテ此
國ヲシテ榮ヘルコトハ出來ナイト信ジマス、故ニ政府ノ此海陸軍ニ對シテ半額ニスル通
リ、此少給ノ小學校教員ニ對シテモ、ヤハリ此公用ヲ歩クキニハ半額ニシテ差支ナイト
私ハ信ジマス、故ニ政府ハ是等ニ付イテ能ク研究セラレテ、益、普通教育ガ我國ニ實
施セラレテ、眞ニ文明ノ勢力ト云フモノヲ東洋ニモナラズ、世界萬國ニ輝スコトヲ
希望スルノデアリマス、政府ハ之ニ付イテ速ニ答辯アラント希望ミマス

○議長(杉田定一君) 日程第一、海港檢疫法中改正法律案、第一讀會ノ續、委
員長山根正次君報告

第一 海港檢疫法中改正法律案(政府提 第一讀會ノ續(委員長 出貴族院送付))

○山根正次君 諸君、此海港檢疫法中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ申上
ゲマス、マダ速記録ガ廻リ居リマセスカラ御存アリマスマイガ、此事ニ付イテハ重モナル
點ハ、此法律ハ明治三十二年ニ出來マシタノデ、マダ日本ニ於テ「ベスト」ヲ如何ニ能ク

防ダコトガ出來ヤウカト云フコトガ、マダ能ク分ラナカッタキデアリマス、ソレデアリマスガ
故ニ不十分ノ點ガアル、其點ニ付イテ改正ニナッタデアリマス、而シテ第四條第一項、
第三號中「船舶ト交通シタルモノ」ト云フノヲ「船舶ト交通シ其他傳染病毒ニ汚染シタ
ルモノ」ト此汚染シタルモノノ規定ハ、今マデノ中ニ無カッタデアリマス、斯
ク云フモノガ加ハタデアリマス、五條第一項ニハ「警察官吏ニ於テ第一項ノ事實ア
リト認メ其旨ヲ告知シタル場合又前二項ニ同シ」ト云フコトニナッタデアリマス、ソレカ
ラ第六條ノ重モナルモノハ何ニアルカト申シマス、今マデノ「ベスト」ヲ豫防スル、即チ此
檢疫法ノ上ニハ鼠ノ驅除ヲ云フコトニ付イテノ規定ガ無カッタデアリマス、此事ガ重モ
加タデアリマス、「鼠族ノ驅除ヲ施行シ」ト云フ鹽梅ニナッタ、ソレカラ檢疫ノ船舶ヲ停
留ヲ命ジタル場合ニ於テハ、船員ハ皆陸ニ揚ゲテ置クト云フヤウナ規定ニナッテ居リマ
シタガ、船中ニモ停留スルコトガ出來ル、一旦消毒シタルコトコロノモノハ船ノ中ニ置イテモ
差支ナイト云フコトガ、停留スルコトモ出來ルト云フコトガ加タデアリマス、其外同條ニ
次ノ一項ガ加テ居リマス「發航地若ハ寄港地ノ狀況又ハ船舶ノ狀態依リ消毒方
法又ハ鼠族ノ驅除ヲ施行スルコト」ト云フコトガ加テ居リマス、其船ノ狀態ニ依リト云
フノハ、或ハ其船ハ流行地カラ來ヤシナイカ、或ハ汚染シタル棉花、或ハ米穀、或ハ大
豆ノヤウナ物ヲ積ンデハ居ラヌカト云フヤウナ場合ニ於テハ、時ニ依ッテ驅除法或ハ消毒
方法ヲ命ズルト云フヤウナコトデアリマス、ソレカラ第九條第一項「消毒」ノ下ニ「又ハ
鼠族ノ驅除ヲ加ヘ」是ガ加タデアリマス、ソレカラ二項「消毒費」トアルノヲ「消
毒又ハ鼠族驅除ニ關スル費用」ト云フコトニ改メタデアリマス、ソレカラ「委員會ノ經
過ヲ報告スレバ宜イ」ト呼フ者アリ、能ク言ハヌト分ラヌ、ソレカラ又檢疫官吏ハ、是ハド
ウシテ船ニ乗セルコトガ出來ルカト云フ、職務ヲ執行スル上ニ於テ必要ガアル場合ニ於
テハ、例ヘバ橫濱病人ガ船ノ中ニ在ル、其病人ハ「ベスト」デナイカ、又疑ガアッテ「ベ
スト」ト斷定スルコトガ出來ナイ、神戸マデ行ケバ神戸マデ檢疫官ガ附イテ行ケル「ベ
スト」デアルカナイカト云フコトヲ確メタルモノニ船ニ乗ッテ行クト云フコトデアリマス、斯ク云フコ
トニ付イテ精シイコトヲ政府委員ハ答ヘタデアリマス、之ニ付キマシテイロ／＼ノ問ガ出
マシタガ、委員會ハ全會一致ヲ以テ、是ハ結構ナル修正案デアルト云ウテ、贊成ヲ致シ
タデアリマス、就キマシテハ私ハ委員會ノ「ヤッパ」一人トシテ其委員會ニ於テ希望ヲ述
ベタル規則ガ成立致シマス以上ハ、海外カラ參ルトコロノ病毒ニ付イテハ十分豫防スルコト
ガ出來マスガ、内地ノ有様ハ如何デアルカ、大阪ノ如キニ至ッテハ、始終「ベスト」病毒
ガアッテ、財政上又ハ生命ノ上ニ非常ナ危害ヲ與ヘタ、此規則ヲ以テ外國ノ分ハ
防ギ得ルトスルモ、内ニ尚能ク十分ナル消毒方法ガ行ハレ、總テノ豫防方法ガ行ハレヌ
トキニ於テハ、是ガアッテモ何ノ役ニモ立タヌデアアル、今日政府ノヤルトコロノモノハ甚ダ
緩慢デ、僅カナ金ヲ出シテ、サウシテ大阪アタリノ「ベスト」病毒ヲ豫防シ、アルコトハ、
甚ダ之ヲ豫防スル上ニ以テ其當ヲ得タルモノデナイ、地方ノ自治ハカリニ任ジテ置カズシ
テ、內務大臣ハ進ンデ、此病毒ノ撲滅ニ注意シナイト、貿易上ニ於テ、且生命ノ上ニ
非常ナル損害ヲ受ケツ、アルノミナラズ、之ガ爲メニ病毒ノ無イ各府縣ガ非常ナ恐儻ヲ
起シテ、多數ノ金ヲ使ヒツ、アリマスガ、故ニ私ハ之ヲ内ニ於テハ能ク之ヲ豫防シ、外ニ於
テハ此規則ヲ以テ防グヤウニシタラ宜カラウト思フ、內務大臣ニ此事ヲ私ハ希望致シマス
ト同時ニ、滿場一致ヲ以テ此規則ハ委員會報告通り、御賛成アラント希望ミマス

○議長(杉田定一君) 別段御議論モナイヤウデアリマス、採決ヲ致シマス、本案ノ二

讀會ヲ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○恆松隆慶君 直チニ讀會ヲ開キ、唯今委員長カラ纏々述ベマシタヤウナ必要ナ案

アリマスカラ、讀會ヲ省略シテ確定セラレシコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り、直チニ讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ確定讀トスルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナシト認メマス——直チニ讀會ヲ開キ全部ノ議題ト致シマス

海港檢疫法中改正法律案 確定讀

○恆松隆慶君 委員長報告通り……

○議長(杉田定一君) 委員長報告通り御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナシト認メマス——是ニテ本案ハ確定致シマシタ——日程第二、市場法案、第一讀會——是ハ簡條ガ多クアリマスノデ朗讀ハ省略シマス——川島龍藏君

第二 市場法案(川島龍藏君一名提出)

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

第一讀會

市場法案

第一條 本法ニ於テ市場ト稱スルハ魚鳥、家畜、獸肉、青物市場ヲ謂フ

第二條 市場ハ主務官廳ノ免許ヲ受クルニ非サレハ之ヲ設立スルコトヲ得

市町村其ノ他ノ公共團體ニ於テ市場ヲ設立セムトスルトキハ主務官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第三條 市場設立者ハ規約ヲ作り主務官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第四條 市場ニ於テ賣買ヲ爲ス營業者ハ規約ノ定ムル所ニ依リ市場ノ會員トナルコトヲ得

會員ハ市場ニ於テ店舗ヲ設ケ其ノ他營業上必要ナル設備ヲ爲スコトヲ得

第五條 市場ニ於テ他人ノ爲ニ賣買ヲ爲シ若ハ其ノ媒介ヲ爲スコトヲ得ル者ハ仲立人ニ限ル

仲立人ニ必要ナル資格ハ規約ノ定ムル所ニ依ル

第六條 市場ニハ一人若ハ數人ノ管理者ヲ置クヘシ

市場管理者ハ市場設立者ニ於テ之ヲ選定シ主務官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 市場ニ於テハ賣買ノ當時其ノ市場及規約ニ於テ定メタル區域内ニ在ル商品ノ外之ヲ賣買スルコトヲ得

第八條 市場ニ於テ賣買シタル商品ハ代品ヲ以テ受渡ヲ爲スコトヲ得

受渡ハ賣買ノ翌日ヲ超ヘサル期間ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

市場ニ於テ爲シタル賣買ニ付テハ相殺ヲ以テ之ヲ結了シ又ハ解約ヲ爲スコトヲ得

第九條 市場管理者ハ規約ノ定ムル所ニ依リ受渡品ノ検査ヲ爲スコトヲ得

第十條 市場管理者ハ其ノ設立及維持ノ費用ニ充ツル爲會員及賣買當事者ヨリ使用料並手數料ヲ徴收スルコトヲ得其ノ徴收方法及徴收率ハ規約ノ定ムル所ニ依ル

第十一條 市場管理者ハ市場ニ於ケル賣買ニ關シ賣買當事者ノ爲代金ノ取立仕拂其ノ他計算ヲ爲スコトヲ得

第十二條 市場管理者ハ其ノ規約ノ定ムル所ニ依リ賣買ニ關シ會員及仲立人ニ對シ身元保證金ヲ供託セシムルコトヲ得

第十三條 市場管理者ハ規約ノ定ムル所ニ依リ違約者ニ對シ賣買ヲ停止シ又ハ五百圓以内ノ過怠金ヲ課シ又ハ除名スルコトヲ得

第十四條 市場管理者ハ規約ノ定ムル所ニ依リ毎年少クトモ一回市場ニ關スル經費ノ決算財産目錄及業務ノ成績書ヲ作り市場ニ公示シ併セテ之ヲ主務官廳ニ報告スヘシ

第十五條 主務官廳ハ市場管理者ニ對シ商品ノ公定相場ヲ定メ之カ公示ヲ命スルコトヲ得

第十六條 主務官廳ハ官吏ヲシテ市場ニ臨檢セシメ帳簿建物其ノ他物件並會員又ハ仲立人ノ營業帳簿ヲ検査セシムルコトヲ得

第十七條 主務官廳ハ市場ノ位置設備及規約ノ變更ヲ命シ又ハ賣買物件ヲ制限スルコトヲ得

前項ノ外主務官廳ハ市場ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十八條 第十六條及第十七條第二項ノ規定ハ市場ニ於テ賣買スル商品ニ關スル倉庫業ヲ營ム者ニ對シ之ヲ準用ス

第十九條 主務官廳ハ市場管理者會員又ハ仲立人ノ行爲法令ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ又ハ主務官廳ノ命シタル事項ヲ執行セサルトキハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 市場ノ設立免許又ハ認可ノ取消

二 市場ノ業務ノ停止

三 賣買物件一部ノ禁止

四 決議又ハ處分ノ停止禁止若ハ取消

五 市場管理者ノ解職

六 會員又ハ仲立人ノ賣買停止若ハ除名

第二十條 市場ノ廢止ハ主務官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第二十一條 主務官廳ハ必要ト認ムルトキハ市場ニ於テ賣買スル商品ニ付市場外ニ於ケル賣買ヲ停止若ハ禁止スルコトヲ得

第二十二條 第二條ニ違反シタル者ハ百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十三條 仲立人ニ非スシテ市場ニ於テ他人ノ爲ニ賣買ヲ爲シ又ハ其ノ媒介ヲ爲シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス第二十一條ニ依リ停止若ハ禁止セラレタル商品ヲ賣買シタル者亦同シ

第二十四條 第七條又ハ第八條ニ違反シタル者ハ五十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十五條 第十五條ノ命令ヲ拒ミ又ハ公定相場ヲ偽リ又ハ第十六條ノ檢

查ヲ拒ミタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス
第二十六條 市場管理者又ハ市場ニ於テ賣買ヲ爲シタル者ハ其ノ代理人雇
人其ノ他ノ從事者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命
令ノ規定ニ違反シタルトキハ自己ニ出テサルノ故ヲ以テ責任ヲ免ルルコ
トヲ得ス
第二十七條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法及本法ニ基キテ發シタル
命令ノ處罰ニ關シ之ヲ準用ス
第二十八條 本法及本法ニ基キテ發スル命令ニ於テ市場ニ關シ規定シタル
事項ハ罰則ニ關スルモノヲ除クノ外市場ヲ設立スル市町村其ノ他ノ公共
團體ニ之ヲ準用ス
第二十九條 本法ハ地方ノ慣行ニ依リ開設スル祭日市、歲市及產牛馬組合
法ニ依リ設立シタル市場ニ之ヲ適用セス
附則

第三十條 主務官廳ハ地方ノ狀況ニ依リ區域ヲ限リ本法ヲ適用セサルコ
トヲ得
第三十一條 本法ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
第三十二條 本法施行前ニ主務官廳ノ認可ヲ得テ設立シタル市場ハ本法施
行ノ日ヨリ本法ニ依リ免許セラレタルモノト看做ス但シ本法ノ規定ニ從
ヒ規約ヲ定メ明治四十年九月三十日迄ニ主務官廳ニ差出シ之カ認可ヲ受
クルコトヲ要ス此ノ期日ヲ經ルモ仍認可ヲ申請セサルトキハ免許ハ其ノ
效力ヲ失フ

(川島瀧藏君登壇)
○川島瀧藏君 諸君、市場法案ハ二十一議會ニ私カラ提出致シマシタコロガ、當
時會期切迫ノ故ヲ以テ政府及本院ノ諸君モ、審查ノ暇ガナク云フ理由ノ下ニ否決
ニナッタ次第アリマス、コレ故ニ二十一議會ニ於テ當然政府カラ種々取調ノ上、御提
出ニナルコト、思ヒマシタガ、豈計ラシニ二十一議會ニ於テモ更ニ其事ナク、今ニ出ス今ニ
出スト云フ口實ノ下ニ、空シク經過シタ問題デアリマス、又二十三議會ニ至リマシテ
モ、私ヨリ交渉シマシタコロガ、何分ニモ進マデ出ナイデ、已ムヲ得ズ私カラ提出ス
ルト云フ次第ニナッタデゴザイマス、デドウ云フ譯デ市場法が必要カト申シマスレバ、本邦
ニ現時アリマスルコロノ市場ハ、會社組織ノモノガ二百一、組合共同組織ノモノガ五
百三十四、個人ノラレテ居ルノガ八百五十二、合計千五百八十七、其他ニ米穀市
場ガ東京二十一、兵庫二一、山梨二一、斯ウナッデ居リマス、斯様ニ多數ノ市場ガ各
所ニアルケレドモ、此市場ノ取締方法モ付イデ居リマセス、就中私が主眼ト致シマスル
コロノ魚、家畜、青物等ニ至リマシテハ、殆ド舊慣、陋習デ甚ダ困タコトニナッデ居リマ
ス、第一斯ノ如キモノヲ此儘置キマスレバ、生産ノ發達ヲ妨ケルコト實ニ多大ノコトデアリ
マス、其故ハドウカト申シマスレバ、魚類ニ付イテ例ヲ舉ゲテ見マスレバ、近ク例ヲ引キマ
スルト、東京ノ日本橋ノ魚河岸ノコトデアリマス、此市場ノ有様ハドウナッデ居ルカト申
シマスレバ、各地方ノ荷主ガ問屋(宛テ、參リマス、問屋ハ仲買人ニ貫テ致シタバカ
リデ、直段ヲ定メズシテ賣捌キマス、サウシテ仲買人ハ之ヲ小賣商ニ販賣スル、小賣商
ニ販賣スル時分ニハ價ヲ定メマスレドモ、問屋ト仲買人トノ間ニハ更ニサウ云フコト
ハシナイ、小賣人ハ悉ク仲買人カラ買ッテ、後トテ相場ヲ立テラデアリマス、コレ故ニ仲
買ト問屋トノ間ト相場ト云フモノハ、百圓ノモノヲ片方ハ八十圓ト云ヒ、片方ハ百

二十圓ト云フ、サウ云フ譯デ殆ド定タ相場ガナイデアリマス、コレ故ニ不幸ヲ見マスル
ノハ、皆各地方ノ送り荷主デアリマス、各地方ノ荷主ト云フモノハ宜イ加減ノ相場ヲ
附ケラレテ、サウシテ極メラレ、コレガタメニ各地方ノ送り荷主ト云フモノハ、之ガタメニ
利益ヲ得テ大ニ其自分ノ業ノ繁昌スルト云フモノハ、殆ド稀デアリマス、是ハ眞ニ其事
業賣買ノ法宜キヲ得ナイ結果デアリマス、又一例ヲ舉ゲマスレバ、牛馬ノ如キハ諸君
ノ御承知ノ通り、馬喰ナラモノ、袖ノ下ニ賣買セラル、ト云フヤウナ譯デ、殆ド是ハ昔風
其儘デ、眞ニ斯ノ如キモノヲ其儘ニ措キマスレバ、此市場ト云フモノハ殆ド何ニモ用ヲナ
サヌモノニナリマス、特ニ第二ニ因ルコトハ市場ガ立ッデ居ラヌト、需用供給ノ調和ヲ
計ルコトガ出来マセヌ、ドウ云フ譯カト云フト、日本橋デ云ヘバ二日カ三日カ不漁ガアレ
バ、最早宴會其他ノ大キナ獻立ヲシテモ、魚ハ何レニモナイ話ニナル、是ハ誠ニ帝都ノ
不面目デ、設備ノ十分デナイカラデアリマス、設備ガアッテ傍ニ冷蔵庫ガアルコトニナレバ、
ドウ云フ雨天ガ續イテモ、必ズ供給ニハ差支ナイ、今ノ儘ニシテ置ケバ左様ノコトハ到
底望ムコトガ出来マセヌ、第三ニハ衛生上ニ非常ノ影響ガアル、今日日本橋ヲ御覽ニ
ナレバ分ル、數日雨ガ續キマスレバ、實ニ鮮魚モ泥濘ノ中ヲ泳イテ歩ルク始末、此ノ如
キコトハ實ニ衛生ニ影響スルコト非常デアリマス、特ニ又街衢美觀ノ上ニ於テモ見苦シ
イコトデ、野天ニ商賣ヲサレテ居ルコトハ實ニ昔其儘デアリマス、又野菜ノ如キ御承知ノ
如ク、大根河岸ニ臚列シタル、少シ餘計ノトキハ車馬モ通行ガ出来ヌト云フ有様デア
リマス、斯ノ如キハ實ニ吾々ノ毎日食膳ニ供スル、佳肴、野菜其他ノモノヲ扱フ上ニ於
テモ甚ダ大缺點ノコト、思ヒマス、特ニ諸君御承知ノ通り、明治四十五年ニナレバ、世
界ノ博覽會ヲ東京ニ開クト云フコトデアリマス、斯様ノトキニ當ッテ諸外國人ガ參ッ
コロデ、日本ノ眞中ニ鮮魚ヲ臚列シタリ、雨晒シタリ、日晒シタルト云フハ、帝都ノ
不面目デアルト思フ、之ガタメニ一日モ早ク市場法ヲ實施シテ、東京ハ勿論各地方ニ
モ此市場取締ノ上ニ生産ノ發達ヲ十分ニ計リ、又市場ノ調和ヲ計リ、衛生上其他美
觀上ニモ不體裁ノナイコトニシタラバ、外人ニ對シテモ大ニ日本ノ體面ヲ全ウスルコト
ニナルト存ジマス、是レ本案ヲ提出シタ所以デアリマスカラ、御賛成ヲ願ヒタインデアリ
マス

○恆松隆慶君 本案ニ付イテハ、九名ノ委員ヲ議長ノ指名アラシコトヲ願ヒマス
○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り、議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルト云
フコトニ御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナク認メマス、日程第三、裁判所管轄區域變更
ニ關スル法律案、第一議會、議案朗讀

第三 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(樂山和一
君外一名提出)
(書記朗讀)

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案
明治二十三年法律第六十二號裁判所位置及管轄區域表中名古屋地方裁判所
管内西尾區裁判所管轄三河國碧海郡安城町大字福釜、赤松及古井ノ三字ヲ
同地方裁判所管内岡崎區裁判所ノ管轄ニ變更ス
附則
本法ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
本法施行前西尾區裁判所ニ於テ受理シタル事件ハ同區裁判所之ヲ裁判ス

○議長(杉田定一君) 築山和一君

(築山和一君登壇)

○築山和一君 諸君、本案ハ極メテ單純ナル地方問題デゴザイマスルカラ、理由ハ此理由由書ニ書イテアリマスル通りヨリ外ハゴザイマセヌ、故ニ何卒委員付託ニナリマシテ、御賛成アラシコトヲ希望シマス

○恆松隆慶君 本案ハ九名ノ委員ニ付託シ、其委員ハ議長ノ指名アラシコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り、九名ノ委員、議長指名ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」異議ナシ「聲起ル」)

○議長(杉田定一君) 御異議ハ無イト認メマス、日程第四、和歌山縣下郡界變更法律案、第一讀會、議案朗讀

第四 和歌山縣下郡界變更法律案(請願委員長提出) 第一讀會

(書記朗讀)

和歌山縣下郡界變更法律案

和歌山縣紀伊國東牟婁郡佐木村ヲ同縣同國西牟婁郡ニ編入ス

附則

本法ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(杉田定一君) 横井時雄君

○横井時雄君 此日程第四、第五、第六ハ皆簡單ナル法案デアリマスカラ、一括シテ提出致シタイト思ヒマスガ、ソレデ御許ヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 四、五、六ヲ一括シテ報告スルト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」異議ナシ「聲起ル」)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナレバ、其通り致シマス、御登壇

(横井時雄君登壇)

○横井時雄君 本員ハ請願委員會ノ決議ニ基キマシテ、茲ニ此三箇ノ法案ヲ提出致シマス、第一ハ今諸君ノ前ニ朗讀セラレマシタルトコロノ郡域變更ニ關スル法律案デアリマシテ、是ハ和歌山縣下ノ東牟婁郡佐木村ト云フ所ガ所謂山村僻地デアリマシテ、頗ル交通ノ不便ナル所デアリマス、所ガ郡區町村編成當時ニ於キマシテ、之ヲ東牟婁郡ニ編入セラレマシタ所ガ、其實際ノ便宜ヨリ申シマスルナラバ、右佐木村ハ西牟婁郡ニ最モ接近シテ居リマシテ、地理上風俗人情其他官衙ノ遠近等ニ於キマシテ、西牟婁郡ニ編入セラレ、コトガ、最モ便利トスルトコロデアリ、郡役所ノ如キ東牟婁郡デアリナガラ、其郡ノ郡役所ニ行キマスニハ二十里バカリノ道ヲ行カナレバナリマセヌケドモ、其郡郡ノ西牟婁郡ニ行クニハ、十里バカリデ済ムト云フコトデアリ、取引上ノ便宜カラ、人情ノ相違等ニ於キマシテモ、ドウカ西牟婁郡ノ方ニ管轄ヲ變ヘテ貰ヒタイト云フ希望ヲ聽イテ見マスルト、頗ル道理ガアルヤウニ思ハレルノデアリマス、内務省政府委員ニ於キマシテモ、其邊ノ事情ハ諒トセラル、トコロデアルト云フガ如キ答辯ヲ得マシタゴザイマスカラ、即チ此法案ヲ提出シタ次第デアリマス、ドウカ諸君ニ於キマシテモ其邊ノ事情ハ諒トセラル、速ニ御可決アラシコトヲ希望致スノデアリマス、其次ハ裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案デアリマス、其全文ヲ極ク簡單デアリマスカラ私カラ讀ミマス

明治二十二年法律第六十二號裁判所位置及管轄區域表中宮城控訴院管轄陸奥ノ國ヲ國控訴院ノ管轄ニ變更ス

附則

本案ハ明治四十年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十年六月三十日以前ニ於テ青森地方裁判所ノ爲シタル裁判ニ對スル上訴ハ宮城控訴院之ヲ管轄ス

是ハ明治二十三年法律第六十二號施行ノ以前ヨリ、青森地方裁判所ハ函館控訴院ノ管轄區域ニ屬シテ居リマシタガ、明治三十八年ニ於キマシテ、恰モ日露戰爭中多クノ船舶ハ御用船ニ徵收セラレ、而シテ敵艦展、此函館ノ海峽附近ニ追テ參リマシタガタメニ、往々ニシテ交通ノ遮斷セラレ、ト云フ不幸ニ遭遇シタコトガアリマス、ソレデ事情已ムラ得ザル譯ヨリシテ、宮城控訴院ノ管轄ニ移サレタノデアリマスルガ、近頃ニ至ッテ平和克復ト共ニ船舶ノ交通モ益々頻繁ニナリ、且久シキ以前ヨリ、經濟上、取引上、其他ノ關係モ依然トシテ青森ト函館ノ方ノ關係ガ親密デアッテ、之ヲ宮城ニ比スルナラバ、ドウシテモ元ノ管轄ニ移シタイト云フ希望ガアリマス、却テ此請願書ハ弘前、青森及函館ノ三箇所カラ提出サレテ居ルノデアリマス、此三箇所ニ於テモソレダケ、熱心ナル希望ガアルト云フ譯デ、此法案ヲ起草シテ委員會ノ決議ニ基キテ、諸君ノ前ニ提出致ス次第デアリマス、ドウカ是モ前ノ法案ト同シク、諸君ノ慎重ノ御審議ヲ待ッテ、即決セラレンコトヲ希望致スノデアリマス、第二ハ治安警察法第五條改正ノ請願ニ基クモノデアリマシテ、是ハ東京市麹町區ノ士族塚タメ外二百二十二名カラ提出ニ係ル請願デアリマスガ、此請願ニ基キマシテ、請願委員會ノ職ヲ經テ治安警察法中改正法律案ヲ茲ニ提出致ス次第デアリマス、此法案ガ最モ簡單デアリマシテ

治安警察法中ノ通改正ス

第五條第二項中「女子及」ヲ削ル

此三字ヲ削ルト云フコトデアリマス、諸君ノ御承知ノ通り我國ニ於キマシテハ、東洋一般ノ舊習ニ從ヒ、從來女子及小兒ト云フコトハ即チ普通ノ套語ニナッテ居リマシタノデゴザイマシテ、此治安警察法中ノ第二項ニ「女子及未成年者ハ公眾ヲ會同スル政談集會ニ會同シ若クハ其發起人タルコトヲ得ス」ト云フ一句ガアリマス、之ニ依ッテ我國ノ女子ハ政談演說會ヲ聽クコトガ出來ズ、偶々地方探テ諸君ノ能ク御承知ノ通り、總選舉場合ニ政談演說會ヲ開キマス、其家ノ主人タルコトノ婦人若クハ其家族ノ者ガ、其政談演說會ヲ聽クコトガ出來ナイト云フナラ、其家ノ外ニ一時放逐セラレカケレバナラヌヤウナ不思議ナル事情ニ遭遇スルコトガアリマス、衆議院若クハ貴族院ニ於キマシテハ最モ好イコトノ場所ヲ充テ、サウシテ御婦人ノ用ニ供シタル、即チ今日モ澤山ニ茲ニ來テ居ラレタリマスガ、其通りニ鄭重ニ婦人ヲ尊敬シテ居ルノニ、地方ニ往ッテ見ルト、演說ヲ聽クコトハ出來ナイト云フヤウニ制限ヲスル道理ハ無イノデアリマス、此憲法政治ノ下ニ於テ、明治四十年ノ世界ノ此日本ニ於キマシテ、斯ノ如キ制限ヲ存シテ置クト云フコトハ、實ニ國家ノ耻辱ダト信スルノデアリ(ヒヤク)諸君モ必ズ御同感ヲウツ思フノデアリマス、ドウカ斯ノ如キ東洋的ノ——惡イ意味ニ於テノ東洋的文字「女子及」ト云フモノヲ撤回シ、我國ノ婦女子ニ自由平等ノ空氣ヲ吸ハセルヤウニ致シタイト云フ希望デアリマス、(「大贊成」ト呼フ者アリ)ドウカ是モ即時ニ御可決アラシコトヲ切ニ希望致スノデアリマス(拍手スル者アリ)

○恆松隆慶君 決議ハ四、五別々ニ御採リニナルコトト……

○議長(杉田定一君) 別々ニ採決致シマス

○恆松隆慶君 ソレデハ第四ガ問題トナリマシタカ

○議長(杉田定一君) 第四ガ問題トナリマシタカ

○恆松隆慶君 ソレデハ意見ヲ述ベマス、是ハ郡界變更ト云フ問題デゴザイマスルガ、内容ハ極ク簡易ナモノデゴザイマスル、殊ニ常設ノ請願委員會ニ於テ十分調査セラレテ提案ニナッタ案デゴザイマスル、此場合直チニ一讀會ヲ開キ、而シテ議會ヲ省略シテ確定セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ
○議長(杉田定一君) 先ツ二讀會ヲ開クヤ否ヤニ付イテ採決ヲシマス、本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、恆松君御發議ノ通り、直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略トシテ確定スルト云フニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キ全部ヲ議題ト致シマス
和歌山縣下郡界變更法律案 確定議

○森肇君 私ハ修正ノ意見ガアリマス(モウ可決シタ)ト呼フ者アリ(第二讀會ガ、今第二讀會ニテ居ル)私ハ此附則「明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス」トアリマスノ之ヲ七月一日ヨリト修正致シマス、其理由ハ本員過日請願委員會ニ於テ詳細ニ述べ置キマシタカラ、同一ノ理由ヲ以テ之ヲ七月「ト云フコトニ修正致シマス」
〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 定規ノ贊成ガアリマスカ
〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 定規ノ贊成ガアルト認メマス、本文ニ就イテハ御異議アリマセヌカ
〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、附則ニ付イテ森君ノ修正「四月一日」ト云フヲ七月一日「ト云フコトニ修正スル」ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定ヲ致シマシタ
○望月長夫君 私ハ質問ガアル、司法省ノ委員ガ居ラレマシタラ質問シマス、此第五ノ案ハヨモヤ政府ハ同意ヲスマイト思フ、明治三十八年……
○議長(杉田定一君) 望月長夫君マデ日程ニ入りマセヌ——日程第五、裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案、第一讀會、議案ノ朗讀ハ省略致シマス

第五 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(請願委員 第一讀會 長提出)
〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス以下之ニ倣フ〕
裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案
明治二十三年法律第六十二號裁判所位置及管轄區域表中宮城控訴院管轄陸奥ノ國ヲ函館控訴院ノ管轄ニ變更ス

附則
本法ハ明治四十年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
明治四十年六月三十日以前ニ於テ青森地方裁判所ノ爲シタル裁判ニ對スル上訴ハ宮城控訴院之ヲ管轄ス
○望月長夫君 其續ヲ述べマス——政府ガ説明ヲスレバ宜シイ聽キマセウ
〔政府委員齋藤十一郎君登壇〕

○政府委員齋藤十一郎君 本案ハ請願委員長ノ御提出ニナリマシタ案デ、慎重ノ御調査ヲ經タル案トハ心得テ居リマスガ、政府ハ遺憾ナガラ御同意致シ兼ネマス(贊成)

官報號外 明治四十年三月十七日 衆議院議事速記第十六號 和歌山縣下郡界變更法律案 確定議 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案 第一讀會

成)ト呼フ者アリ(請願委員會ニ於キマシテハ曩ニ三十八年ノ改正ヲ、日露戰役ニ原因スルモノト云フ理由ヲ御認メニナツタデアリマスガ、是ハ諸君モ御記憶ノコトデアラウト思ヒマス、確ニサウデハナイ、日露戰役ニハ少シモ關係ハナカッタデアリマス、マダアノ變更ガ出來マシテ以來、タツタ一年間、其間ニ變更シマシタ事情ト云フハ迅イ船ガ出來タ、航海ノ度數ガ増シタ、是ダケノコト、其外ノ事情ハ少シモ變更テ居ラヌデアリマス、斯ウ云フ事情ノタメニ、裁判所ノ管轄區域ヲ變更スルト云フコトハ、ドウシテモ御同意ハ出來兼ネル、假リニ宮城ニ移リマシテ以來、ドウ云フ不便ガ起ツタカト云フコトヲ訴訟人ニ於テ不便ヲ訴ヘテ居ルト云フ事實ハ、政府ハ認メテ居ラヌデアリマス、デ此請願ハドウデアアルカト申シマス、是ハ政府ノ見ルトコロデハ一部部ノ人ノ請願デアル、一般青森縣民ヲ代表シテ居ル請願トハ認メテ居リマセヌ、斯ウ云フ理由デ甚ダ遺憾デアリマス(望月長夫君登壇)
○望月長夫君 私ハ反對ノ演說ヲ致シマス
〔委員付託〕ト呼フ者アリ

○望月長夫君 委員付託ガ先決ニナツテ、サウ云フコトニナレバ、私ハ演說ヲ控ヘマスガ——正式ニ付託說ガ出レバヨシマス
○恆松隆慶君 先決問題ヲ提出致シマス、此案ハ一應委員ニ付託シテ調査セシメタイト思ヒマス、議長ノ指名、九名ノ委員ヲ選バレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通、議長指名九名ノ委員ニ本案ヲ付託スルニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、日程第六、治安警察法中改正法律案、第一讀會、議案ノ朗讀ハ省略致シマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

第六 治安警察法中改正法律案(請願委員長提出) 第一讀會
治安警察法中左ノ通改正ス
第五條第二項中「女子及」ヲ削ル
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

〔政府委員古賀廉造君登壇〕
○政府委員(古賀廉造君) 治安警察法ノ改正ニ付キマシテハ遺憾ナガラ政府ハ御同意ガ出來兼ネルデアリマス、昨年モ請願ガ通過シマシテ、政府ニ迴テ參リマシタガ、閣議ニ於テハマダ目下ノ狀況ハ國ノ女子ヲシテ政談集會ニ(ソシナコトハナイ)ト呼フ者アリ會同シ、若クハ其發起人タルコトヲ(ノウク)許スノ地位ニ達セヌデアアル、寧ロ(後)レテ居ル「ト呼フ者アリ」目下女子ノ淑徳ヲ養成スルタメニハ(ノウク)現行ノ儘ニ差置ク方ヲ以テ最モ適當ト認メテ居ル(女權擴張)ト呼フ者アリ(政府ハ飽マデ反對致シマス)

○議長(杉田定一君) 質問ガアル(ト呼フ)
○小河源一君 政府委員ニ質問致シマスガ、女子ガ演說ヲ聽クト云フコトガ、如何ナル理由ニ依テ淑徳ヲ養フデアリマセウカ、演說ヲ聽クノガ惡イノニ、此衆議院ニ於

和歌山縣下郡界變更法律案 確定議 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案 第一讀會

和歌山縣下郡界變更法律案 確定議 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案 第一讀會

和歌山縣下郡界變更法律案 確定議 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案 第一讀會

和歌山縣下郡界變更法律案 確定議 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案 第一讀會

和歌山縣下郡界變更法律案 確定議 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案 第一讀會

テ女子ニ演説ヲ聽カスノハ、ドウ云フ譯合デアリマスルカ、又政治上ノ事柄ヲ記載シタルトコロノ新聞ヲ讀マセルノガ女子ノ淑徳ヲ素ルコトハナイト致シテ、サウシテ演説ヲ聽クダケノコトガ淑徳ヲ素ルコト云フハドウ云フ理由カ、其理由ヲ承リタイ

〔政府委員古賀廉造君登壇〕

○政府委員(古賀廉造君) 一言御答ラシテ置マラス、物ハ極端ニ論シタクハゴザイマセヌ、或ハ裁判ノ傍聴デアル、若クハ議院ノ傍聴デアル、若クハ新聞ヲ讀ムト云フ如キ程度ニ付イテハ格別ノ弊害ハナイ其他ニ私ハ餘リ女子ヲシテ奔走セシムルコトハ好マヌト云フデアリマス

○福井三郎君 本案ハ既往數年間、屢々請願委員會ニ請願トシテ現ハレタ問題デアリマシテ、請願委員會ハ其都度丁寧ナル審議ヲ盡シテ、採擇ノ末議場ニ報告ラシタ問題デアリマス、因テ本會デハ當否ハ幾度モ繰返シテ、議論ヲセラレテ居ルデアリマス、故ニ此問題ニ付イテハ、重ネテ政府委員ト押問答ラスル必要モナシ、又議論ヲ重ネル必要モナイト思ヒマス、直チニ常識ヲ以テ判斷シ得ル問題ト思ヒマスカラ、茲ニ討論終結ノ動議ヲ提出致シマス、因テ直チニ採決セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 討論終結ノ動議ニ賛成ガアリマス

○議長(杉田定一君) 定期ノ賛成ガアルト認メマス、討論終結ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君ノ動議、直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ確定スルニ御異議ハアリマセヌカ

治安警察法中改正法律案

確定議

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定ヲ致シマシタ

○森秀次君 是ヨリ樺太ニ施行スベキ法令ニ關スル委員會ヲ開キタイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス 日程第七、明治三十四年法律第二十七號中改正法律案、第一讀會、議案ノ朗讀

第七 明治三十四年法律第二十七號中改正法律案 第一讀會

〔書記朗讀〕

明治三十四年法律第二十七號中改正法律案
明治三十四年法律第二十七號中左ノ通改正ス

第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

本法ニ依リ免除シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除セス

〔植場平君登壇〕

○植場平君 此改正案ハ唯今朗讀ニナリマシタ如ク、極メテ簡明ナル改正デアリマスカラ、別ニ説明ノ必要モナイヤウニ考ヘマスガ、唯一言申シテ置キマス、此改正案即チ明治三十四年ノ法律第二十七號ハ、水害地ノ特別免租ニ關スル法律デアリマス、此前後ニ發布ニナツテ居リマス災害地租ニ關係ノ法律ニハ、盡ク今朗讀ニナリマシタ條項ガアルデアリマス、然ルニ此三十四年ノ法律ニハ、此條文ガナイノデ、ソレデ權衡ヲ保チマセヌカラ、此改正案ヲ提出致シマシタ理由デゴザイマスカラ、ドウカ宜シク御賛成ヲ願ヒマス

○恆松隆慶君 本案ハ九名ノ委員、議長指名ヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通、九名ノ委員、議長指名ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、日程第八、煙草專賣法中改正法律案第一讀會、議案ノ朗讀

第八 煙草專賣法中改正法律案(福井三郎君外六名 第一讀會)

〔書記朗讀〕

煙草專賣法中改正法律案

煙草專賣法中左ノ通改正ス

第十一條中「量目」ノ下「又ハ葉數」ヲ削ル

第十二條第一項中「量目」ノ下「又ハ葉數」ヲ削ル

同條第三項中「量目」ノ下「又ハ葉數」ヲ削ル

第十七條中「量目」ノ下「又ハ葉數」ヲ削ル

〔福井三郎君登壇〕

〔簡單ト呼フ者アリ〕

○福井三郎君 御氣ノ毒デスガ、是ハ少シ簡單ニハ參リ兼ネマス、約三時間バカリ掛ラウト思ヒマスカラ、前以テ御斷リ申シテ置キマス、此改正案ノ趣旨目的トスルコロハ、未來有望ナル政府ノ煙草專賣事業ノ前途ニ横ハル一大障礙ヲ取除イテ、益々此事業ノ發展ヲ企テ、而シテ國庫ノ收入ヲ多カラシメテ、延イテ全國無數ノ煙草耕作者ノ大ナル困苦ヲ除イテ加フルニ多大ナル利益ヲ與ヘタイト云フニアルデアリマス(笑聲起ル)是ハ極メテ小問題ノヤウデアリマスガ、決シテ是ハ一地方ノ問題デハナイ、全國至ルトコロ一郡ナリ、若クハ一村ナリ、殆ド關係セザルトコロハナイデアリマス、而シテ是ヨリ詳述致シマスレバ分リマズガ、成程三時間ヲ要スベキ値ノアル大問題デアリマスカラ、其積リテ暫ク清聴ヲ傾ケラレンコトヲ希望致シマス、現行ノ煙草專賣法ニ依ツテ、政府ガ耕作人ヨリ葉煙草ヲ收納スルニ當ツテ、收穫量目ヲ檢査シタル上ニ、尙無益徒勞ニシテ而モ兒戲ニ等シキ葉數ノ査定ヲサセルノデアリマス、ソレニ依ツテ無用ノ大金ヲ濫費シ、兼テ耕作人ヲ煩勞シテ、之ヲ苦メテ居ル事實ガアルノデアル、第一ニ斯様ナコトヲ生シテ來ルデアリマス、二ハ不經濟ニシテ此煙草ノ事業ヨリ得ルトコロノ益金ヲ意外ニ減ズルコトニアルデアリマス、故ニ第一ノ品質ヲ惡クスル方カラ一通リ説明ヲ致シマスガ、御承知ノ如ク煙草ハ烟ニ植エタル、其烟ニ植エタル煙草ハ單リ煙草ノミナラズ、何

物ヲモ自然ノ發達ニ任テ置クノガ一番宜シイノデアアル、自然ノ發育ニ人工ヲ加ハル所
以ノモノハ、其自然ノ發育ヲ助ケルノ目的デアアル、之ニ反シテ若シテテラ妨ケルヤウナ
コトデアレバ、偶々以テテラハ無干渉ニ勝ルノデアアル、故ニ大抵ノモノデアラナラバ、自由ノ發
達ニ任テ宜シイ、此煙草ノ如キ其通テ、自由ノ發育ニ任ズルナラバ、其土地相應ノ特
色ヲ有シ、香氣モアレバ、色モアル、誠ニ一目シテ是ハ何所ノ煙草ト需用者ノ愛好ス
ベキ莫キ煙草ガ出來ルノデアアル、然ルニ此葉數ヲ査定スルト云フコトガアルガタメニ、
一定ノ時期ヲ定メテ心止メト云フコトヲスル、伸ビタ上ヲチヨン切テ心止メ、之ヲ一
定ノ時期ヲ以テサウスルガ故ニ、或ルモノハモウ少シ抛テ置カヌト云フコト、自然ニ伸ビ
トコロマデ伸ビナイモノガアル、或モノハ最早伸ビ過ギテ心止メナケレバナラヌ、マ
ダ止メナイモノモアル、故ニ止メベキモノデ止メナイノハ、却テ阿呆ニナツデシマフコトヲ恐
ガル、又止メベカラザル時ニ於テ止メルノハ、所謂月足ラズニナツデシマフコトアリマス、
故ニニツナガラ本當ノ煙草ト云フモノハ遂ニ出來ズニシマフ、故ニ煙草トナリマシタ上ニ
於テ品質ガ惡クナツテ香モナケレバ色モ惡クナルト云フヤウナ始末、遂ニ需用ガ減ズル
ト云フコトニナルノデアアル、官營ノ前マデハ全國何レノ煙草モ特色ガアツタノデアアル、故ニ諸
君ハ御承知デゴザイマセウガ、一服ノ喫煙ニ依ツテ直ニ何處ノ煙草ダト云フコトヲ知ルニ苦
ミハシナカッタノデアアル、然ルニ官營後ト云フモノハ商賣人ニアラズンバ、一服ノ煙草ヲ直グ
何處カラ出タ煙草デアアルト云フコトヲ識別スルコトガ難クナツタ、ノミナラズ品質ガ惡クナツ
タ、斯ル品質ノ旨クナイモノヲ澤山ナ錢ヲ出シテ喫ム必要ガナイト云フコト、且一日ヨリ需
用ガ減ジテ往キ居ル有様ニナツテ居ルノデアアリマス、是ハ決シテ事實ヲ認ユルノデアアリマセウ、
當局者ガ調査セラレタナラバ、サウ云フ結果ヲ現シテ居ルコトハ確カニ認メラレタデアラウト
思ヒス、ソレカラ第二ハ不經濟ニテ純益ヲ減ズルコト云フコトデアアル、此純益ヲ減ズルコトニ付
イテハ是ヨリ詳述致シマスガ、凡ソ葉數ヲ査定スルノニハ、先ツ品質ヲ減ズルコトノ一ツ
忍ガアルト同時ニ手數ガ掛ル、ソレハ何故ニ手數ガ掛ルコト云フコト、煙草ヲ植エテアル所
ヲ目撃シテ御方ハ御存ジテアリマセウガ、ヤカマシイ規則ノ下ニ之ヲ作ラシテアル、幼學便
覽ヤ詩語粹金デ詩ヲ作ルヨリハ、チト煙草ヲ作ルコトハムツカシイコトニナツテ居ル、先ツ
其一二ヲ舉ゲテ云ヘバ畝間ハ二尺乃至三尺ト云フ規定ガアル、畝ト畝トノ間ニ二尺カ
三尺ノ間ヲ置ケ、株間ハ六寸乃至一尺幅ヲ明ケル、株ノ間ハ六寸乃至一尺幅ヲ明ケ
ルコト云フコトデアアル、ナカノ小笠原流ノ儀式ヨリモムツカシイ、畑ニ之ヲ植付ケテモ一
ツ間違ッタナラバ、直グヤカマシイ規則ガ後ロニアツデ、直ニ作ルコトヲ止メラレル制裁ガ幾
ツモ付イテ居ルノデアアル、ソコデ六尺平方即チ一坪ノ間ニ煙草ガ何本植ハルコト云フ
ト――全國ニ煙草ノ種類ハドノ位アルコト云フコト約八十種以上、百種位ゴザイマセウカ
ラ、其種類ニ依ツテ悉ク一樣ニハ參リマセウケレドモ、押シナバトコロ先ツ一坪ニ十二本
位ガ少ナイラシイ、二十七八本植ハルノガ多イラシイ、ソレヲ平均致シマスルト云フコト、
一坪ニ付イテ十五本位ガ先ツ平均數ゴザイマセウ、一坪ニ十五本植エルモノト致シマス
ルト、一畝歩ノ中ニハ五百四十本ニナル、一段歩中ニハ五千四百本ニナル、一町歩ノ
中ニハ五万四千本ト云フ勘定ニナツテ居ル、政府ガ日本全國ニ於テ煙草ノ耕作ヲ許シ
テ居ルコトコロノ總段別ハ三万二千町步デアアル、此三万二千町步ノ中ニ煙草ガ何本植
テ居ルカト云フコト、此計算デ往クト十七億九千八百萬本植テ居ル勘定デアアル、約十
八億萬本植テ居ル勘定デアアル、此割合ニシテ是デ葉ガ何枚付イテ居ルカト云フ、葉數
ヲ勘定スルノガカラ、勢ヒ細カイ葉ノ勘定モ御話ヲシナケレバナラヌ、少ナイモノハ一
十二三枚付イテ居ル、多イモノハ二十三四枚付イテ居ル、是モ煙草ノ種類ノ異ナル
ニ從ツデ一樣ニハ參リマセウ、例ヘバ一口ニ鹿兒島ノ煙草ト云ウテモ、揖宿葉トカ、國分葉

トカ云フモノガアリマスルシ、又岡山縣、吾々ノトコロニ於テモ備中葉ト云フモノガアレバ、又
其隣ノ作州ニ山中葉ト稱スルモノガアルト云フ譯デ、其中デ種類ヲ區別スルト、又幾通りニ
モ分レル譯デアアルカラ一樣ニ言ヘマセウガ、先ダ少ナクテ十二三枚、多クテ二十三四枚付
ノデアアル、之ヲ平均致シマスルト云フコト、丁度一本ノ木ニ十八枚葉ガ付クノデアアル、サウスルト一
坪デ十五本植テ居ルニ中葉ガ何枚アルコト云フコト二百七十枚、之ヲ一畝歩ノ勘定ニスル
ト九千七百二十枚、一段歩ニ致シマスルト九万七千二百枚、一町歩ニ致シマスルト九
十七万二千枚、之ヲ全國デ政府ガ許シテ居ルコトコロノ耕作總段別三万二千町步ノ勘
定ヲ致シマスルト、三万一千一百萬枚餘ト云フモノニナル、此日本全國ニアルダケノ算盤
ヲ持ツテ來テモ勘定出來ヌト云フ程ノ勘定ナルノデアアル、之ヲ一畝歩ニサセルノデアアル、其
勘定ノサセ方ハドウカト云フコト、實ニ徒勞デ、滑稽デ、兒戲ニ等シイノデアアル、是モ亦全
國サウ云フ方法ヲ以テ勘定サシテ居ルコト云フタナラバ、或ハサウデナイ所モアルカモ知レ
マセウガ、本員ナドノ見タ所ニ於テハ、煙草ノ葉ヲ勘定スルニ畑ノ中ヘ耕作人ヲ入レテ役
人ガ付イテ居テ、押丁の二――押丁ガ罪人ヲ使役スルヤウニ、押丁の二役人ガ付イテ
居テ、サウシテ畑ノ中ヘ耕作人ヲ逐込シテ之ヲ勘定サセル、其勘定サセルノモナカノ
三万一千一百萬枚ト云フ數ニ上ボルモノヲ勘定サセルデアアルカラシテ、一ト通ノ勘定
法デハ勘定シ切レヌ、是ニ於テカ大豆ヲ持タシテ一、二、三ト豆デ勘定シテ、其葉數ガ
十枚ノトキニ丁度豆ノ種類ガ變テ、豌豆トカ蠶豆ヲ一ツ入レテ十ナラト勘定サセル、
一番シマヒニ一畝歩歩ルイタ後デ、豆ヲ役人ノ前ニ持ツテ來テ見セル、種類ノ變タ豆ヲ
拾ヒ集メテ、十アツタナラバ百枚アルト云フ勘定ニナル、所ガ是ガ數ノ勘定デアアルカラシ
テ、動モスルト種類ノ變タ豆ヲ一ツ餘計入レタリ、九ツ入レタト思ツテ十入レタリ、一
度入レタノヲ忘レテ二度入レルコトガ出來ル、サウスルト外ノ者ノヤッタト合ハヌ、合ハ
ヌカラ再調査、又再調査ト云フコトデアアル頭役人ノタメニ逐使ハレテ、一日畑ノ中ヲマ
ノシテ終ツデシマフノガ是ガ即チ煙草ノ葉ノ検査デアアル、斯様ナ有様何日ニ煙草
ノ葉ヲ査定スルト云ツテ達シテモ、間違ナク役人ガ來レバ宜イガ、役人ハ多ク使ツナイ、
ヤハリ比較的二斯ウ云フ複雜ニサセル仕事ハ少ナイノデ、數ヲ増サヌト見エテ、明日ト定
メテモ明後日ニナル、甚シキハ三日モ五日モ延ビル、其タメニ煙草ハ遠慮ナクズン、伸
ビテ阿呆ニナルノモアルシ、ソレガタメニ今日ハ御出張ガアルカ、今日ハ御出張ガアルカ、
今日ハ御出張ガアルカト毎日辨當ヲ持ツテ煙草ノ畑ニ往ツテモ來ナイタメニ、ヘコタレテ到頭
待チボケニ遭フコト云フヤウナ狀況、ソレニ煙草ノ葉ヲ査定スル時分ニハ農繁ノ時期デア
テ、所謂作物ヲ取入レルタメニ猫ノ手モ借リタイ位ニ忙シイコトデアアル、田舎ニ於テハ小
學校ノ子供ヲ休マセル、御上ニ内緒デ休マセルト云フコトニナツテ居ル位ニ農繁ノ時期デ
アル、ハラ雇フト云ツテモ廉イ錢デ雇ヘナイ、皆アシトニ職業ヲ持ツテ居ルカラ用ガ足リ
ナイ、日傭稼ノ人間ヲ集メテモ、ソレサラ隨分高イ費用ヲ出サナケレバ集ツテ來ナイ、
斯様ナドウモ忙シイ時期ニ困難ヲ忍ビシテモ宜イ、餘計ナコトヲスル、斯ウ云フ有様
ニナツテ居リマス、諸君其事ヲスルノニ、ドノ位ノ人夫ヲ要スルコト云フコト、先ツ一町歩ノ
煙草ノ葉數ヲ畫弧ニ魅マレタヤウナ顔ヲシテ、勘定シテ歩ルクニ八十人乃至百人ノ人夫
ハ要ルノデアアル、故ニ少ナイ方ノ八十人ト假リニ定メタトコロガ、十町歩ニ八百人、百町
歩ニ八千人、千町歩ニ八萬人、全國ノ三万二千町歩ニ二百五十八萬人ノ人夫ヲ要
スル勘定ニナル、豈驚クベキコトデアアリマセウカ、其賃錢ノ如キモ處ニ依ツテ異リマセウ
ガ、本員等ノ郷里ノ如キハ極メテ物價ノ廉イ所デアリマスガ、ソレデスラ尙四十錢モ五十錢
モ出サナケレバ雇フトモ出來ナイノデアアル、ソレヲ大負ケニ負ケテ廉ク積ツテ二十錢トシタ
ナラバ、一番廉イ處デゴザイマセウ、故ニ一八二付キテ二十錢デ、取ルトシタナラバ、即チ二

百五十六萬人ヲ三十錢トスト、七十六萬八千圓ニナル、晝狐ニ魅マレタヤウナ顔附ヲシテ居テモ、是又ノ費用ト是又ノ人夫ヲ要スルノデアリマス、而シテソレモ唯人足バカリガヤルノデハナシ、此耕作人バカリデヤルノデハナシ、是ニハ監督スル者ガアル、御役人様ガ其畑ノ隅ニハバツテ、キヨロノシテ眺メテ居ラナケレバナラヌ、其勘定モ少ナクナイ人デ、大キナ人ヲ要スルノデアリマス、ソレハハノ位カト云フ、此葉煙草ノ今專賣局ニ於テ收納所、販賣所、製造所、約三十分レテ居ルヤウデアル、本局、支局ヲ入ルレバ、マダアリマセウガ、其收納所ノ仕事ハ百姓ノ取ツタ葉煙草ヲ取入ル、所デアル、御承知ノ如ク販賣所ハ出來上ツタモノヲ賣ル方デアル、此方ハハノ位御役人様ヲ要シテ居ルカト云フ、雇員ハ別ニシテ全國ニ其數ガ十四アツテ、六十一人ノ人ヲ使用シテ居ル、屬若クハ技手ト云フヤウナモノデアリマス、或ハ私モ此位ノ人ハ是又ノ煙草デアラカラ要スルデアラウト思フ、而シテ煙草收納所ト稱スル、即チ百姓ノ方ノ作ツタモノヲ取上ゲル方ニ、ハノ位役人ガ居ルカト云フ、全國二十箇所ノ收納所ニ於テ二千二百八十人使ッテ居リマス、是ハ本官デ、屬若クハ技手ト云フモノデアリマス、而シテ是モ政府委員ニ就イテ聞イテ見マスト雇員ト云フモノモ使ッテ居ル、此雇員ノ數ハハノ位アルカト、云フト此本官ノ屬若クハ技手ノ數ヨリ多クハナイガ、彼此レ同數前後デアルト云フ答辯デアル、之ヲ大負ケニ負ケテ千人ト致シマシテモ、此方ヲ兩方合セテ二千三百人程ノ人ヲ使ッテ居ル、マダ賣ル方デハ六十一人ノ人間濟シテ居ルモノ、此收納ノ方ニ於テハ二千三百人バカリノ人ヲ使ッテ居ル、宜ナルカナデアリマス、斯ク如キ仕事スルノデアリマスカラ是又ノ人ヲ要スル、是等ノ御役人様ハ決シテ廉イ金デハ使ヘナイノデアル、其月給ノ平均ヲ聞イテ見ルト一八二十五圓デアルト云フコトデアリマスガ、之ヲ本官及雇員ヲ通シテ平均二十圓ト致シマシテモ、此一年間ノ給料ガ百六萬餘圓ニナル、ソレデ此役人ガ悉ク葉煙草ノ査定ニ係ッテ居ルト云フデアリマス、大負ケニ負ケテ其三分ノ一位係ッテ居ルモノト見テ、即チ之モ四五十萬圓ノ餘計ノ費用ガ掛ッテ居ル、毎年七十餘萬圓ト云フモノハヤリ無用ヲ人夫ニ使フ費用ト、之ヲ監督スル費用ヲ併セマスト、百二十四萬圓ノ費用ト云フモノハ、吾々ノ素人眼デチヨット見テ上デ飛ンデ往ッテシマッテ居リハセヌカト思フ、勿論煙草專賣業ハ政府ノ專賣事業デ大ニ當ッタ仕事デ、政府デハ御手柄ノ仕事デ、何千萬圓ト云フ儲カル仕事デアラカラ、是位ノ費用ハ要スルト言ハレカ知レヌガ、諸カルベキモノハ幾ラデモ儲ケルガ宜シイ、併シ節約ヲセラルダケハ節約シテ、國庫ノ收入ヲ多カラシメテ、無用ナ浪費ヲ慎ムト云フコトガ相當デアラウト思フ、本員ガ煙草專賣事業ノ前途ニ横ッテ居ル一大障害デアルト云フコトハ、此徒勞徒費ノ事柄ト、茲ニ此上ニ要スル無用ノ費用、此二ツガ即チ專賣事業ノ前途ヲ危シスルモノデアラウト私ハ信ズル、何ゼナレバ一方ニセモ宜イコトニ干渉シテ天然ノ發育ヲ妨ゲマスカラ、其物ノ品質ヲ害シテ、コンナ木ノ葉カ何ノ葉カ分ラヌヤウナモノニ錢ヲ出シテ喫ムコトガアルカト云フ禁煙草家ガ出來テシマウテ、需用ガ無クナッデシマウ、又一方ニハ耕作人ヲ役人ガ、マルデ看守押丁ガ罪人ヲ使役スルガ如キ有様此事ヲヤラセラルカシテ、其煩ニ堪ヘナイ、故ニコンナ面倒ナコトヲ作ラズニ止メタ方ガ宜イト云フモノガアル、サリナガラ煙草ノ出來ル所ハ御承知デアリマセウガ大抵磯崎ノ地ガ多イ、沃地デハナイ、故ニ反對論者ハ往々言ハレ、ソレ程困難ナコトナラ止メテ外ノ物ヲ作ッテ宜イデアラウト云フガ、麥デモ米デモ出來ル地デアレバ、決シテコンナ煙草ヲ作リハシナイケレドモ、如何セン煙草ノ出來ルヤウナ地ニ外ノ物ヲ作ッタコトガ、到底煙草ト同ジキ收穫ヲ取ルコトハ出來ナイ、蕎麥トカ豆トカハ幾ラカ出來ルデアリマセウガ、是トテ煙草ヲ作ッテ穫ル如キ收穫ハ得ラレナイノデアル、所ニ依ルト煙草デ生命ヲ繫イデ居ル、花ノ都ノ東京

ニ居ッテハ決シテ分ラヌ話デアリマスガ、寒村僻地ニ這入ッテ見ルト煙草ガナケレバ夜モ日モ明ケナイノデアル、煙草ニ依ッテ一年ノ生計ヲ立テ、居ルト云フノガ煙草產地ノ特色デアル、之ヲ措イテハ外ニ仕事ハナイカラ壓制ヲサレテモ何ホ儲カル物ヲ儲ケサセラレナイデモ、泣キナガラ仰シタル通ニ作ラシテ戴クヨリ外ニ仕方ガナイト云フ現狀デアル、ソレデ何故ニ斯ノ如ク干渉ヲ受ケテモ默ッテ居ルカト云フ、默ッテ居ラヌト云フ、直グニ取上ゲラレマス、苦情ヲ云フト作ラセナイト云フコトニナル、丁度汝ニ飯ヲ呉レヌト同ジコトニナル、ソレデハ叶ハヌ生命ガ叶ハヌカラ壓制ニ服シ、干渉ニ服シテ居ルト云フ今日煙草耕作地ノ現狀デアリマス、斯ノ如ク無益無用ナルコトヲ費用ヲ懸ケテスル必要ハ何レニナツカト云フコトニ付イテ考ヘテ見ルト、既往ハ聊カ無理ハナカッタと思フ、既往トハ何時ヲ申シマスガ、即チ今日ノ現行煙草專賣實施以前ハ、聊カ政府ノ心配セラレノモノ勿論デアル、何ゼナレバ葉煙草收納所ト云フモノ、政府ノ役所ノ外ニ、尙葉煙草製造業者ト云フモノガアツテ、煙草耕作人ヲ嚴重ニシナイト御上ノ御機嫌ガ惡ルイノデ、從ッテ耕作人ヲイナメテ、廉イ直段デ政府ニ之ヲ買收セシメルカラ、モウ少シ直段ノ高イ便利ナ所ニ賣ル方ガ宜イト云フノデ、密賣ガ行ハレル、其密賣ヲ取締ルガタメニ斯様ナ方法ヲ設ケテ置カナケレバナラヌト云フ、チヨット聞クト一理アルヤウニ思フガ、是スラ神經家過ギルノデアル、何ゼナレバ煙草專賣法ノ第十一條ニハ今モ改正前モ、政府ハ收穫前ニ葉煙草ノ量目査定、又ハ收穫量目ヲ査定スルコトニナツテ居ル、此畑ニハ何本植ハッテ居ル、葉ガ何枚附イデ居ル、之ヲ乾上ゲテ量目ガ何程デアルト云フコトガチヤ、ソレ極デ居ル、ソレデ耕作人ガサウハ出來マセヌデアリマスト云フテ持ッテ行クト承知シナイ、役人ノ見込ニ達シテ豫定額ニ達シナケレバ承知シナイ、十貫目出來ルト見込ナ物ヲ八貫目シカゴザイマセヌト云フハ貫目シカゴザイマセヌト云フ、持ッテ往ケバ二貫目ハ六貫目ニシテ償ハスルト云フ規定ヲ後ロニ設ケアル、ソレヨリ葉煙草ノ勘定スル必要モ何モ要ラナイケレドモ、犯シテ者ヲ罰スルコトハ不親切デアラカラ犯サレヌヤウニ親切ニ世話ヲシテ置ク必要ガアルト云フ上カラ、此葉煙草査定スルコトモ亦或ハ已ムヲ得ナカッタカモ知レヌ、處ガ今日ハ如何デアル、全國ノ葉煙草者ハ政府ヲ措イテ一軒モアリマセヌ、即チ政府ガ一軒ノミデアリマス、故ニ百姓ガ作ッタ物ハ政府ノ即チ收納所ト云フ間屋ニ持ッテ往クヨリ外ニ仕方ガナイ、其外ニ葉煙草ヲ一枚デモ持ッテ居リマセバ、價札ヲ使用スルト同ジヤウニ論ゼラレル、恐ルベキコトニナツテ居リマス、故ニ何者ガ持ッテ居ッテモ、政府以外ノ者ガ葉煙草ヲ持ッテ居リマセバ、直グニ之ヲ咎ムルコトガ出來マス、今日ハ片田舎ニ到ルマデモ駐在制度デ巡查ヲ置イデアリマスカラシテ、彼ノ家ハドンナ物ヲ喫ベテ何人暮シテ、著作ハドウ云フ物ヲ著テ居ルカト云フコトマデ分リマス、其中ニ葉煙草ヲ命懸ケテ一枚ニ枚持ッテ居ル白痴者ハゴザリマセヌ、命懸ト云フタラ仰山カ知レマセヌガ、其耕地ヲ取上ゲラレルトコトニナルカラ、飯ヲ食ヘナイ、飯ガ食ヘナケレバ命懸デアル、故ニ命懸デ一枚ニ枚ノ葉煙草ヲ持ッテ居ル者ガ或ハ政府ハアルト思フカ知リマセヌガ、本員ハ常議ヲ以テ居ル者ニハ萬ナカラウト思ヒマス、左様ナ次第デ、違反ノ餘地ガナイノニ、尙且此徒勞ヲ敢デシナケレバナラヌ必要ハ何處ニアルヤト云フコトヲ本員ハ知リタイノデアル、恐ラクハサウ云フ必要ハナカラウト思フ、是ニ於テカ遂ニ此煙草ノ改正案、即チ御手許ニ迴シデアリマス通り十一條ノ現行法文「政府ハ收穫前ニ於テ葉煙草ノ收穫量目又ハ葉煙草査定ス」トアル中ヨリ「又ハ葉煙草」ト云フ四字ヲ削除致シマスルト、其徒勞徒費ガナクナルコトニナリマス、又其第十二條ニ「煙草耕作者前條ノ量目又ハ葉煙草査定ニ不服ナルトキハ即時異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得」トアル其中ヲ是ハ自然ノ結果トシテ同ク「又ハ葉煙草」ト云フ五字ヲ削除シナケレバナラヌト存シマス、其第三項ニ「異議申立

人ノ主張ニ係ル葉煙草ノ量目又ハ葉數ト前項決定額トノ差ガ前條ノ査定額ト前項決定額トノ差ヨリ大ナルトキハ鑑定ニ關スル費目ハ異議申立人ノ負擔トス」トアル、是モ自然ノ結果トシテ、又ハ葉數ノ四ノ三ヲ削減シナケレバナラヌト存シマス、其第十七條ニ煙草耕作者正當ノ事由ナクシテ政府ノ査定若ハ決定シタル量目又ハ葉數以上ノ葉煙草ヲ納付セザルトキハ政府ハ其ノ不足額ニ對シ第十八條第二項ノ規定ニ準ジテ算定シタル金額ノ三倍以下ヲ納付セシムルコトヲ得」ト書イテアリマス、是モ即チ自然ノ結果トシテ「葉數」ト云フコトハ斤ケナケレバナラヌ、斯様ニシマシタルナラバ、此モ無用徒費ナル葉數査定ガ除カレテ、耕作人ガ欣々然トシテ此事ニ從事シマスルト同時ニ、葉煙草ハ自然ノ發育ヲシマシテ、風味ヲ持テ未來日本ノ煙草ノ前途ニ大ニ貢獻スルデアラウト信ズルデアリマス、是ニ於テカ遂ニ此改正案ヲ提出スルノ已ムナキニ至リタリマス、終リニ臨ンデ一言申シテ置キマス、政府ハ違反ガアルトマデ今日モ固執セラレマスガ、ソレハ成程場所ニ依テハ違反モアリマセウガ、本員等ノ見ルトコロニ於テハ殆ド違反ト云フモノハ求メテモナイ、偶々アレバソレハサウデモナイコトヲ、是等役人ノ常トシテ些細ナコトヲ言爭テ、言爭タナラバ是非ハコマシテ我ヲ主張シテウ、犯則者ニシテジマデ、數ハ上テ數件アツタカ云フコトハゴザイマセウケレドモ、全クノ犯則者ハ事實ニ於テナイ、本員等ノ認メテハ犯則デアルト云フモノハ殆ドナイト言デ宜シイデアアル、故ニ犯則モナイノニラ設ケテ置ク必要ハナカラウト存シマス、ソコ終リニ臨ンデ一言シテ置キマスガ（ソレデ二度目ダ）ト呼フ者アリ政府ハ元來三十七年ニ煙草專賣法案トシテ現行法ヲ本院ニ提出セラレタ時分ニ、本員モ委員ノ一人デゴザイマシタガ、其時分ノ政府委員ニ本員ハ此條項ヲ削除シヤウト云フコトヲ主張シマシタ、此席ニ列シテ居ラレ諸君中ニモ段々賛成者ガアリマシタ所ガ政府委員ハ曰ク、削除ニ及バヌ、アナタノ御考ヘノヤウナコトハナイ、量目又ハ葉數ト云フコトハ萬一ノ場合ノ付加デアルト云フ意味ノ説明ヲサレマシタ、故ニ本員ハソレハ嘘ダ、現在量目ヲ査定シタ上ニ其査定ニ足ラナカッタラ償ヲサスルコトニシテアッテ、ソレデ足ラヌデ尙葉數査定ト云フコトヲ現在ヤッテ居、斯ウ云ウタ所ガ、其事ハ斷ジテナイ、—— ナイト云フノハ政府委員ガ實際ノ事情ニ通曉シナイデアルト言ヒマシタ、處ガ斷ジテアリマセヌ、責任ヲ持テ御答ニ及ブト、斯ウ明言シテ居リマス、然ルニモ拘ラズ、責任ノ持テアコト夥シイ、三十五年此方、引續イテ今日ニ至リマスルマデ、少シモ變ヘズニヤッテ居リマス、故ニ政府モ此專賣法制定ノ當時ヨリ斯ノ如キコトハ、不必要デアルト認メテ居リマセウケレドモ、行掛リ上或ハ贊成ガ出來ヌカモ知レヌ、本員ガ終リニ臨ンデ（笑聲起ル）言ウテ置カントスルコトコハ此處デア、本院ハ何時モ政府ノ提出シタ法案ニ喜ンデ贊成シテ居、六億萬圓ノ豫算モ一文モ減セズニ贊成シテ居、然ルニ議員ノ提出案ニ係ルモノハ政府ハ唯反對ダニスレバ、ソレデ能事足レリト心得テ居有様デア、何デモ議員提出案ニハ反對々々ト云フコトヲ以テ能事トシテ居、何故サウデア、最モヤト思フモノニ付イテハ、政府モ強テ爭ハズニ、潔ク御同意ヲシテ、サウシテ已レノ管理スル專賣事業ノ發達ヲ圖ルコトガ、即チ國家ニ忠實ナル致方ト思フデア、委員等モ決シテ政府ヲ攻撃スル趣意ヲ以テ出スノデモナケレバ、名ヲ得ルガタメニ出スノデモナシ、事實ニ於テ如何ニモ不都合ト考ヘマスルガ故ニ、一人デハナイ、即チ數人ハ心アル議員ガ申合セテ此案ヲ提出シテ、本員ガ代リテ茲ニ之ヲ説明スル次第デアリマス、故ニドウカ政府ハ今日以後モ尙斯ノ如キ徒勞徒費ヲ續ケルコトヲ愚ク取テセラレズシテ、斯ク申シテハ甚ダ恐縮デア、餘計ナコトヲナサラズニ、ドウゾ此案ニハ直チニ御賛成下スツテ葉數査定ト云フコトハ斷然取除ト云フ改正案ニ贊成ヲサレンコトヲ切ニ希望致シマス

（大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇）

○大藏大臣（法學博士阪谷芳郎君） 此案ニハ政府ハ反對デゴザイマス、（笑聲起ル）此煙草專賣法ノ上デ、一番面倒ナノハ唯今御述ニナリマシタ葉數ノ調査ハ甚ダ面倒デゴザイマシテ、ソレ故ニ是ハヤハリ政府デモ最初考ヘマシタ、各國デハヤッテ居リマス、各國デハ葉數調査ニ重キヲ置イテ居ルガ、我邦デハ之ヲヤラズニ濟シテ見ヤウト云フ考デ掛リマシタ、然ルニドウシテモ葉數ト云フコトハ煙草ノ數量ヲ極メル一番ノ原素ヲ爲スノデア、ルカラシテ、此手續ハドウシテモ省クコトハ出來マセヌ、併ナガラ段々此熟練モ重ネテ參リマシタカラシテ、手續ハ頗ル簡略ニナッテ居リマス、故ニ主義トシテハ是ハ到底除クコトハ御同意ハ出來ヌデアリマスガ、事實ニ於テハ漸次今ノ福井君ノ述ベラレタヤウ面倒ハ去リ得ルデラウト考ヘマス、御承知ヲ通りニ煙草專賣ノ收入ハ今三千万バカリノ益ヲ得テ居リマスルガ、我邦ト人口ヲ以テ比較致シマスルト、稍相似テ居、佛蘭西ニ於キマシテハ、一億二千万ノ收益ニ達シテ居ルト考ヘテ居リマス、尤モ當ノ度ガ大分違ヒマスルカラ、違ヒソレニ達スルト云フコトハ出來マスマイガ、餘程將來ニ於キマシテハ、國家ノ發達上有望ナル是ハ財源デアリマスルカラ、成ルベク此脫稅ト云フコトノ豫防ヲ嚴シ致シマシテ、無論無用ナル手續ヲ省クコトハ努メテ往カナケレバナラヌ、而シテ耕作人トノ關係ハ、政府ニ於キマシテハ、日々他ノ農產物トノ製產費ノ比較ヲ致シマシテ、耕作者ガ極メテ安全ニ感シマスルヤウニ價ヲ定メルト云フコトハ、努メテ居リマス、將來ニ於キマシテ段々此區別ノ整理ヲ致シマシテ、其習慣ト云フモノガ追々養ハレテ參リマスルト、極ク安全ナ耕作物ニナリマス、現金ト云フモノノ仕拂ガ極メテ確カデアリ、直段ノ極メ方モ稍々幾ラカ普通ノ作物ヨリ宜クシテヤル位ノ考デゴザイマスルデ、極メテ安全ナ耕作物ニナッテ參リマシタ、ソレ故ニ唯今御述ニナリマシタ如キ事情ハ、或ハ既往ニ於テアツタカモ知レヌ、又現在ニ於テ地方ニ依テハ多少アルカモ知ラヌ、一切ナイトハ申サレマセヌガ、ソレハ成ルベク物ノ弊害デアリマスカラ、其弊害ヲ除クコトハ、十分努メマスケレドモ、ソレガタメニ根本ノ主義ヲ總テ失フテシナイト云フコトニナルト、後トニ大ナル穴ガアリマス、詰リ收入ガ減ツテ來ルト云フコトニナリマス、政府ハ固ヨリ諸君ノ御議論ト云フモノニ付イテ、十分重キヲ置キマス、何デモ反對スルト云フ譯デハ決シテナイガ、同意ノ出來ナイモノハ、反對セザルコトヲ得マセヌ、是ハ否決ヲ希望致シテ置キマス

○恆松隆慶君 本案ハ九名ノ委員ニ付託シテ調査セシメ、其委員ハ議長ノ指名ニ願ヒマス

○議長（杉田定一君） 恆松隆慶君ノ發議ノ通り、議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（杉田定一君） 御異議ハナイト認メマス—— 日程第九、日本水產銀行法案第一讀會ノ續、日程第九第十同一委員ニ付託シテアリマスルデ、併セテ委員長ヨリ報告サセマス—— 景山甚右衛門君

第九 日本水產銀行法案（川島瀧藏君外 十二名提出） 第一讀會ノ續（委員長）

○景山甚右衛門君 唯今議題ニナッテ居リマスル此日本水產銀行外一件、委員會ノ結果ヲ御報告致シマス、本案ハ十三日二午前午後二回委員會ヲ開キマシテ、委員

或ハ政府委員ノ間ニイロ／＼質問應答ヲ致シマシタ結果、原案ニ一ノ修正モナク、全會一致ヲ以テマシテ之ヲ可決致シマシタ。ト云フコトデゴザイマス、サウ致シマシテ稍御承知ノ通、此水產銀行ノコトハ、既ニ二十一議會ニ本院ニ建議ガゴザイマシテ、其建議ハ滿場一致ヲ以テ既ニ可決セラレタ案デゴザイマス、唯今ノ日本ノ現狀ニ依テ此水產銀行ノ發達進歩ヲ圖ルト云フコトハ、最モ目下ノ急務ナル、此水產銀行ニ對スル進歩發達ノ第一著手トシテハ、本案ノ如キ銀行ヲ設立スルコトハ、一日モ忽諸ニ附スベカラザルコトデアラルカ。ト云フ意味ヲ以テマシテ、唯今申上ゲタヤウニ全會一致ヲ以テマシテ可決致シマシタ。ト云フコトハ、政府ノ方ニ於キマシテハ、本案ノ如キモノハ全然反對デハナイガ、是等ノ銀行ヲ法律ヲ以テ國ノ特定銀行ト云フコトニ付イテハ、此銀行ノ營業上ニ對スル抵當ノ確否、又ハ政府責任ノアルコトヲ十分調査攻究ヲ要スルヲ以テ、既ニ二三年前以前カラ調査攻究ヲ居ルガ、未ダ其確確實實ナル認メ付イテ居ラヌ。今日ニ於テ、誠ニ遺憾ナガラ、本案ヲ御贊成ヲ致シテ、斯ウ云フ意味デゴザイマス、ソレカラ次ノ漁業法中改正法律案、是ハ極メテ單純ナ改正デゴザイマシテ、現行漁業法中ノ第七條ニゴザイマス。即チ漁業權ガ此法文ニ據ルト云フコト確マシテ居ナイカラ、此漁業權ヲ確實ニスルト云フコト改正デアツテハ政府ノ方モ別ニ意見ハゴザイマセヌ、同意致サレマシタ。ト云フコトハ、此段御報告ヲ致シマス。

○花井卓藏君 議長

○議長(杉田定一君) 大藏大臣ニ發言ヲ許シマシタ

(大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇)

○大藏大臣(法學博士阪谷芳郎君) 此水產銀行ノコトニ付キマシテ、政府ノ意見ヲ申述ベデ置キマスガ、此特殊ノ銀行ヲ作リマス。ト云フコトハ、餘程考ヲ要スルコトデゴザイマシテ、殊ニ此銀行ハ政府カラ利益ヲ補給スルコト云フ案ニナリテ居リマス、從來政府ニ於テ作リテ居リマス。即チ日本銀行、或ハ勸業銀行、興業銀行ト云フ如キモノハ、即チ一般ノ産業ニ對シテ、ソレ／＼必要ニ應ジテ設ケマシタモノデゴザイマスガ、今此法律案ニ據リマス。ト云フコトハ、水產ト云フ特殊ノ事業ニ付イテ、斯ウ云フモノヲ設ケヤウト云フコトデゴザイマス、此事ニ付キマシテハ、政府ニ於キマシテ、決シテ水產ト云フモノヲ輕ク見ルト云フ議論ハ毫モナイ。ト云フコトハ、何トカ此水產銀行ニ對シテ、輕ク見ルト云フ方法ヲ講ジタ。ト云フコトハ、先年來度々委員會デモ御論究ヲ致シマシタ。コトデゴザイマス、然ルニ此水產銀行ニ於キマシテハ、唯今ノ勸業銀行若クハ農工銀行デヤツテ居リマス。ヤウナ抵當ノコトニ付イテ安全ナル制度ガ未ダ發達致シテ居ラヌ、唯今此水產銀行ノ日程ニアリマス。如キコトガ段々行ハレテ、或ハ漁區ノ權利ガ一ノ抵當ノ目的ニナツテ來ルトカ、何トカ云フヤウナ資本ヲ入レルノ信用ヲ安全ニスルコトガ出來ルモノガ發達シテ來ルト、ソコニ水產銀行ニ對シテ資本ヲ注入スル金融機關モ又共ニ發生シ得ルノデゴザイマス、何モ其處ニ此抵當トスベキモノノナイトコロヘ、唯金ヲ貸スト云フコトハ、制度ノ上デ困難ナルモノデゴザイマス。今日マデ比較的水產銀行ノ方ヘ廉イ資本ノ這入ルモノガ出來テ居ラヌ。ト云フコトハ、甚ダ残念ニ存ジマス、今政府ノ考ヘテ居リマス。ト云フコトハ、斯ノ如キ特殊ノ銀行ヲ設ケテモ、ドウシテモサウ云フ制度デ此銀行ガ出來マシタガタメニ、急ニ發生シ得ルモノデハナイ。ト云フコトハ、ヤハリ今ノ勸業銀行若クハ農工銀行、拓殖銀行等ニ付イテ必要ニ應ジテ、其業務ヲ擴ゲテ行ケバ、水產銀行ト雖モヤハリ大キク言ヘバ、生産業デアルカラ、特殊ノ銀行ヲ設ケル必要ハアルマイ、斯ウ云フ考ヲ以テ居リマス、ソレ故ニ遺憾ナガラ此案ニハ御同意ハ出來ナイ。ト云フコトハ、委員會ニ於テ御答致シマシタ、此場合モヤハリ同様ナ意思ヲ有シテ居リマス。

○花井卓藏君 委員長ニ質問致シマスガ、漁業法ノ改正ニ關シテハ、是ハ極メテ簡單ナルコトデ、直チニ決定セラレ、ト云フコトデゴザイマス。ガ、私ノ見ルトコロニ據レバ、決シテ簡單ナルコトデナイ。ト云フコトハ、即チ漁業權ノ目的ニ現行法ニ據テアル以外ニ於テ抵當權ト云フモノヲ一ツ加ヘテ、又國稅滯納處分及強制執行ノ目的ト爲スト云フコトハ一ツ加ヘルト云フ趣意ガ、改正案ノ第一項ノ規定ニ係リテ居ルナル、然レニ漁業權ト云フモノガ果シテ抵當權トナリ得ベキモノデアルカ否ヤト云フ事柄ハ、大ナル問題デラウト私ハ考ヘル、曾テ漁業法案ノ當院ニ附セラレシキニ當リマシテハ、ヤハリ抵當權ノ目的トナリ得ルト云フコトガ據ラレタ。ト云フコトハ、併ナガラ是ハ民法ノ所謂抵當權ニ對照シテ、甚ダ漁業權其モノノ性質カラ考ヘテ穩デナイ。ト云フコトハ、本員ハ是ヲ削除スベキ意見ヲ述ベタコトガアル、所ガ本院ハ之ヲ容ラレラズシテ貴族院ニ送ラレテ、貴族院ハ此文字ヲ削グ。ト云フコトハ、即チ轉送セラレテ、ヤハリ院議ハ貴族院ノ案ヲ其儘迎ヘラレタ。ト云フコトハ、私ハ尤モコトデアルト思フ、所謂抵當權ナルモノノ漁業權ニ認ムルト云フコトニナリマス。ト云フコトハ、即チ漁業權ノ權利ノ性質ト云フモノハ、民法上ノ一種ノ私權同様ノモノデアルト云フコトニ解セシケレバナラヌ結果ヲ生ズルデアル、即チ提出セラレタ。ト云フコトハ、提出者ノ意見竝ニ委員長ノ意見及政府ノ見ルトコロハ所謂漁業權ト云フモノハ民法ニ授ケタル私權同様ニ見ル御趣意ナルヤ否ヤト云フコトヲ問ハナケレバナラヌ、然ラズト御答ニナツタ。ト云フコトハ、提出者委員長、松岡農商務大臣ノ意見ヲ聞イテ決定シナケレバナラヌ、輕キシイ問題デナイ。ト云フコトハ、面白イ文字デアルガ、私ニハサッパリ分ラヌ、第二項モ分ラヌ。ト云フコトハ、分ラヌコトヲ質問致シマセヌ、分テ居ル抵當權ニ付イテ先ツ第一ニ御答ヲ得タイト思ヒマス。

○景山甚右衛門君 マダ問題ニナツテ居ラヌヤウデスカラ……

○議長(杉田定一君) 委員長ニ質問デアリマス。

○花井卓藏君 委員長、提出者、竝ニ農商務大臣

○景山甚右衛門君 ソレデハ提出者ノ方カラ詳シク御説明ヲ……

○議長(杉田定一君) デハ委員長ガケナラハ御質問ハ宜シデアリマスガ、唯今問題ニナツテ居ルノ第一デアリマス、日本水產銀行法案

○花井卓藏君 報告ハ一括シテ居リマス

○議長(杉田定一君) 委員長ガケニ御質問ナラバ……

○花井卓藏君 ソレデハ唯今ノコトヲ暫ク委員長ガケニ質問致シマス

○景山甚右衛門君 委員長御答致シマスガ、今御尋ノ如キコトハ委員會デハ一ツモ應答ガゴザイマセナラ、イツレ提出者カラ御答致スノデゴザイマセウ

○議長(杉田定一君) 別段御議論モナイヤウデアリマス。ト云フコトハ、採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス

○恒松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恒松君發議ノ通り直チニ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス——齋藤

日本水産銀行法案

第二讀會

(齋藤瑠次君登壇)

○齋藤瑠次君 本案ノ修正ヲ致シマスルガ、修正ノ要點ハ二テアリマシテ、本案ニ此目的ヲ示シテゴザイマス然ルトコロガ、第三章營業ヲ爲スニ對シマシテ之ニ對照シテ目的ヲ指定シテ置クノ必要ガアラウト思ヒマス、是ガ一ツデアリマス、第二ハ本案ノ重役ノ側ニ評議員ト云フモノガ這入ッテ居ル、是ガ誠ニ責任ヲ有セザル者デアルノニ、此中ニ規定ヲシテ置クト云フノハ、少シク穩當ヲ缺イテ居ラウト思フ、他ニ例モナイコトデアリマス、若シ斯様ナルモノガ、特殊ノモノガ必要デアルトスレバ是ハ宜シク内規ノ方ニ屬スルガ相當カト存ジマス、故ニ之ハ此中カラ削除スルガ、相當ト信ジマス、ソレカラ第三ニハ本案ノ此水産銀行ニ對シテ補助ガ、特別ノ補助ニナッテ即チ年四朱ノ補助ト云フモノヲ、十五箇年ノ間利益ガ如何ニアデモ、ソレダケノ補助ハ受ケヤウト、斯ウ云フ規定ニナッテ居リマス、是ハ時世ノ進運ニ伴ハザルトコロノ事柄デハナイカ、今日ニ於テハ最早補助ト云フモノガ一般ニ行ハレテ居ル方法デアッテ、特別補助ト云フコトハ今日ハ甚ダ時世ニ適セナイコト、信ズルノデ、是モ即チ補助ト云フコトニ改メタイト此三ツデアリマス、其三ツ事實之ヲ章ニ當テ嵌メテ修正ヲ致シマスルト、第一條ノ日本水産銀行ハノ下ニ水産業ノ改良發達ノ爲メ資本ヲ貸付スルヲ以テ目的トスル株式會社ニシテ其本店ヲ東京市ニ置クト、斯様ニ致シマス、ソレカラ第二章ノ第五條ニ、總裁一人、理事四人、監査役三人トアリマス、其下ノ評議員「五名以上ヲ置ク」フ七字ヲ削リマス、ソレカラ同章ノ第五條デスガ、即チ其事項ノ評議員ハ總裁ノ諮問ニ應ジ云々以下此項ヲ削リマス、ソレカラ第六章ノ監査役及評議員トアリマス、及其評議員「テル四字ヲ削リ、ソレカラ第二十三條ガ是ハ全然變リマスルンデ、即チ特別補助ヲ、之ヲ補助ニシマスルカラ、第二十三條ハ日本水産銀行ノ配當金ニシテ每營業年度ニ於テ年百分ノ六ノ割合ニ達セザルトキハ政府ハ創立初期ノ日ヨリ十箇年間ヲ限リテ達セシムヘキ金額ヲ補助スヘシ」但シ其補助額ハ如何ナル場合ト雖モ排込資本金ノ百分ノ六ヲ超過スルコトヲ得ス」而シテ是ノ結果二十四條ト云フモノハ不必要ニナリマスカラ之ヲ削リマシテ、而シテ以下各條ガ一條ヅ、繰上ゲニナリマスコトナリマス、右ノ如ク修正ヲ致シマス

○花井卓藏君 私モ修正ガアリマス、第七條ノ第三號ヲ削除スルノ修正デソレカラ第八條ノ二項ノ第八條二號ノ——第八條二號第三號ニゴザイマス「無擔保」ヲ「無擔保」ト改メマス

○議長(杉田定一君) 第三號ノ何デス

○花井卓藏君 第二號及第三號「無擔保」ト云フ文字ヲ「無擔保」ト改メ、理由ハ漁業權ト云フモノハ抵當權ノ目的ト相成ルベキモノデアリト云フコトニ、歸スルノデアリマス、議論ノ根據ハ民法上ノ原則、並ニ漁業法ノ原則ヨリ直チニ彼ガ抵當權トナルベキモノデアリト云フコトハ分ルコトデアリマスカラ、詳シク申上ゲマセヌ

○議長(杉田定一君) 花井君ノ考ハ第七條ノ三號ヲ削除スル……

○花井卓藏君 サウデス

○議長(杉田定一君) ソレカラ第八條ハ……

○議長(杉田定一君) 第八條ハ二號三號「無擔保」トアルヲ「無擔保」トスル

○議長(杉田定一君) 「無擔保」ヲ「無擔保」トスルト云フ修正三定規ノ贊成ガアリマスガ「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 定規ノ贊成ノ御方ハ贊成ト仰ツシヤッテ下サイ

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) ドウモ定規ノ贊成ガナイヤウデアリマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○望月長夫君 此漁業法ノ改正案ハ曩ニモ議題ニナッテ居リマスケレドモ、此水産銀行法デハ漁業權ガ抵當ニナルカナラヌカト云フコトニ依ッテ水産銀行ガ存立シ得ルカ否ヤト云フ問題ガ極デ來ルデラウト思ヒマス、水産銀行ノ主タル問題ハ漁業權ガ抵當ト成ルカ、成ラヌカト云フコトガ極ラヌケレバ往カヌト思ヒマス、ソレデ水産局ハ異議ガナイト云フコトヲ委員會デ言ハレタト云フコトデアリマスガ、幸ニ司法省ノ政府委員ガ居ラレマスレバ、此際ニ於テ此水産銀行法ヲ此儘通過シテモ差支ナイト認メラル、カ否ヤト云フコトヲ確メタイ、此水産銀行法ノ改正案デ差支ナイト云フ意見ヲ司法省デ有ッテ居ルノデアルカ否ヤト云フコトヲ聽イテ見タイ、殊ニ此ノ如キ簡單ノ改正デ抵當權ニナルコトガ出來ルカ或ハ強制執行ノ目的トナルコトガ出來ルカ、其個條ノ儘デ直チニ此抵當權若クハ強制執行ノ場合ニ運用ノ出來ルモノデアルカ、否ヤ、本員甚ダ危ミマス、其故ニ司法省若クハ法制局ノ政府委員ガ居リマスレバ、此場合水産銀行案ヲ決スルガタメ必要デアリマスカラ、漁業法ノ改正通リ差支ナシト認メラレルカ否ヤト云フコトヲ置キタイ

○議長(杉田定一君) 漁業法ニ關聯シテ此水産銀行ノ可否ヲ決スルニ當ッテ此質義ヲシテ置クト云フノデアリマス

○望月長夫君 サウデアリマス、漁業權ガ抵當トナラヌト云フト、幾ド此水産銀行ハ成立タヌコトニナル

○花井卓藏君 此場合ニ於テ私ハヤハリ農商務大臣ニ質問シテ見ヤウト思ヒマス、水産銀行法ノ第七條第三號ノ漁業權ヲ抵當トシテ貸付ヲナスト云フコトヲ私ハ削除ノ案ヲ出シタノデアリマスガ、政府ニ於テハ漁業權ヲ抵當ノ目的物ニナシ得ベキモノト解シ居ルヤ否ヤ、之ヲ御尋シタイ

(農商務大臣松岡康毅君登壇)

○農商務大臣(松岡康毅君) 御答アリマスガ、是ハ未ダ政府ニ於テハサウ吟味ヲ詰メテ居リマセヌ、諸君ノ御提出案デゴザイマスカラ、イアレ諸君ガ十分御鍛鍊ニモナリマセウシ、又尙其中ニハ政府モ研究シマスガ、或ハ農商務省ノ政府委員ハ強テ反對ハナイト申上ゲタカモ知レマセヌガ、併シ愈々此案ガ政府ノ議ニ掛ッテ政府ガ同意シタト申スノデナイノデアリマス、諸君ノ中ノ御提出案ニナッテ居リマス、左様御承知ヲ……

○花井卓藏君 提出者ニ御尋シタイ、第七條ノ第三號ニアル漁業權ヲ抵當トスル貸付ト書イテアリマスガ、漁業權ヲ抵當權ノ目的トナルベキモノト解セラル、カ、根據ヲ承リタイ

○川島瀧藏君 私ハ提出者ノ一人トシテ御答致シマス、此漁業權ト云フモノハ先ニハ質問者ノ御問ノ通ニ此相續讓渡共有貸付ニ許シテアッタノデアリマスガ、斯様ナコトデハ水産業ノ發達上困難デアル、今一層此權利ヲ確メ第三者ニ對シテ都合ノ好イヤウニシヤウト云フノデ、更ニ抵當權ニモ設定ガ十分出來ルヤウニシヤウト云フノデ擴張シタノデアリマス、ソレガ差支ガ有ルカ無イカト云フコトハ、各自見ル所ニ依ッテ異ルノデアリマス、詰リ吾々ハヤハリ同ジヤウナ性質ニナル、斯ウ解釋シテ都合ノ好イヤウニ持ッテ來タノデアリマス

○花井卓藏君 唯今農商務大臣ノ意見ヲ承リマスルト、政府ニ於テモ果シテ抵當權ノ目的トナリ得ベキヤ吟味中デアル、斯ウ申サレ提出者ノ意見ヲ伺ヒマスレバ、別ニ法律上ノ根據ヲ採リタルニアラズシテ、水産發達ノ方ニ於テ此方ガ都合ガ好カラウト思フノデア

ルト云フ常識上ノ議論アル、所ガ或ル權利ガ或ハ抵當權ノ目的物トナル、若クハナラザルト云フ事柄ハ實ニ重大ナル問題デアッテ、吟味不定ノ間ニ若クハ常識上ノ意見ニ於テ決定スベキコトアルマイ、況ヤ會ニ於テ一度爭ヒタル大問題デアリマス、今日別ニ差急グ必要モナカラウト思ヒマス、私ハ水産銀行法全體ニ向テハ多大ノ同情ヲ有テ居ルデアリマス、多大ノ同情ヲ有テ居ルダケ、ソレダケ缺點ダケハ正シテ置カナケレバ立法部ニ法律ノ體面ニ關スルト思ヒマス、依ッテ審議ヲ延期スルト云フコトヲ提議シマス、成敗ハ本員ノ關スルトコトニアラズ、本員ハ本員ノ權利トシテ非難スベキ缺點ハ正シウシタイノデアル、又必要ガアルト思ヒマス、此法文ヲ修正シテ活用ガ出來ルヤウニシタイカラ、延期ノ動議ヲ提出シマス

○議長(杉田定一君) 延期ニ賛成ノ方ガアリマスカ

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○望月長夫君 私ハ徒ニ延期シテモ如何ト思フ、ソレデ再ビ前ノ委員ニ付託シマシテ、サウシテ此問題即チ漁業權ガ抵當トナリ得ルヤ否ヤト云フ問題ハ、前ノ委員會ハ唯水産局長ガ同意シタト云フヲ聽イテ、ソレデ宜イト速シタカノ嫌ガゴザイマスカ、更ニ司法省ナリ法制局ノ意見ヲ質シテ是ガ愈、漁業權ガ、水産銀行ノ抵當トナルト云フト云フ基礎ヲ極メテ立テラレテカラ議シタイ、却テ此儘曖昧ノ裡ニ不完全ノ儘通過サセテ、後ニ否決サレルヤウナコトハ遺憾ト思ヒマスカ、前ノ委員ニ付託シテ直ニ審査サセテ次ノ本會ニ持ッテ出ラレルヤウニ、ヤハリ調ベル方法ヲ極メテ置イタラ宜カラウト思ヒマスカ、延期スル以上前ノ委員ニ付託スルコトヲ望ミマス

○恆松隆慶君 二讀會テ修正案モ出テ居リマスカ、ドウカ採決アラフコトヲ願ヒマス

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○谷澤龍藏君 私ハ花井君ニ賛成ヲ致シマス、唯今之ヲ委員會ニ戻スト云フ說モアリマシタケレドモ、是ハ一旦委員會テ決議セラレタモノデアル、併シ委員會ハ戻スノハ司法省ノ意見モ聞キタイト云フヤウトコロカラ起テ居ル、サウ云フ調ハ延セバ出來ルト思ヒマス、花井君ノ説ガ多少考フベキモノガアルト思ヒマスカ、延バスコトニ賛成シマス

○栗塚省吾君 花井君ニ賛成

○中西六三郎君 私ハ漁業權ガ抵當ノ目的ニナルト云フコトハ差支ナイト云フ意見ヲ持ッテ居リマスカ、花井君ノ修正意見ハマダ成立シマセヌデセウ、私ハ延期ノ必要ガナイト思ヒマス、直ニ此處テ討論スルニ差支ナイ

○議長(杉田定一君) 委員付託ニ賛成ガアリマスカ

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 委員付託ハ前ノ委員ニ付託シテ再審査ヲサセルノデスカ

○望月長夫君 サウデス

○議長(杉田定一君) 望月長夫君ノ本案ヲ前ノ委員ニ付託シテ、再審査ヲサセルト云フニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ望ミマス

起立者 少數

○議長(杉田定一君) 少數デアリマス、花井君ノハ本案ノ審議ヲ延期スルト云フノデアリマス、花井君ノ説ニ御同意ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○議長(杉田定一君) 少數デアリマス、先刻花井君ノ修正說ニ定規ノ賛成ガアルカナイカ判然致シマセナシ、花井君ノ第七條三號ノ漁業權ヲ抵當トスル貸付ヲ削除ス

ルト云フノト、ソレカラ第八條ノ第二號三號ノ中ノ「無抵當」ト云フヲ「無擔保」トスルト云フデアリマス、此修正ニ賛成ノ御方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○議長(杉田定一君) 定規ノ賛成ハアリマセヌ、此修正ハ成立シマセヌ、別段御論モナイヤウデアリマスカ……

〔齋藤君ノ修正ガアリマス〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、第一條ニ付イテ採決致シマス、齋藤君ノ第一條ノ修正ニ御同意ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數デアリマス、齋藤君ノ修正ガ可決セラレマシタ、二條、三條四條ニハ別段修正ガナイヤウデアリマス、原案ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト認メマス、第五條ニハ齋藤君ノ修正ガアリマス、即チ「評議員五人以上」ト云フ七字ヲ削ル、ソレカラ未項ニ於テ「評議員ハ總裁ノ諮問ニ應ジ」云々ト云フヲ削除スルト云フ修正デアリマス、此齋藤君ノ修正ニ御同意ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數デアリマス、齋藤君ノ修正ニ可決セラレマシタ

○恆松隆慶君 全部齋藤君ノ修正ニ付イテ採決ヲ貫ヒタイ、ドウカ一度テ願ヒマス、何遍モ立ッテハ困ル、以下全部齋藤君ノ修正通ト云フコトニ願ヒマス

○議長(杉田定一君) ソレデ第六條以下總テ齋藤君ノ修正通御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト認メマス、是ニテ第二讀會ハ終リマシタ

○恆松隆慶君 直ニ三讀會ヲ開イテ確定セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 直ニ三讀會ヲ開イテ確定スルニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 然ラバ直ニ三讀會ヲ開クニ御同意ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數デアリマス、直ニ三讀會ヲ開クコトニ決シマス、第二讀會決議ノ通御異議アリマセヌカ

日本水産銀行法案

第三讀會

〔異議ナシ〕ト呼ビ又〔異議アリ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ガアレバ採決シマス、第二讀會ニ於テ決議ノ通ニ賛成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數デアリマス、第二讀會決議通過確定ヲ致シマシタ、日程第十、漁業法中改正法律案第一讀會ノ續キ

第十 漁業法中改正法律案(川島瀧藏君 第一讀會ノ讀(委員長 外十二名提出))

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス、前ノガ通りマシタカラ
○花井卓藏君 意見アリマス、反對意見ガアル、短ウゴザイマスカラ此席デ一言致シ
マス、本案ノ第二讀會ヲ開クベカラズト云フ意見、第一ノ理由ハ例ノ質問ノ際ニ申上
ゲマシタ漁業權ト云フモノヲ以テ、抵當ノ目的物トナシ得ベカラザルモノト私ハ解シテ居
ル、而シテ又提出者ノ意見ヲ問フモ、政府ノ當局者ニ問フモ、甚ダ抵當ノ目的物トナ
リ得ベキモノデアルト云フ明確ナル意見ハ有シテ居ラス、是ガ強イ理由ダラウト思ヒマス、
書イタ人ガ適當ナル意見ヲ有セズト云フ、法律ノ適當ナル意見ヲ有セズト言ハル、ソレ
カラ又之ヲ受取ルベキ政府ガ、未ダ吟味中ニ係ッテ居ルト云フ、斯様ナ杜撰ナモノヲ法
律ノ形式ヲ以テ出シテモ一向活用シナイ結果ヲ見ルダラウト思ヒマス、勤カザル働カザ
ル法律ヲ作シタコトデ、無用ナ話デアラウト思ヒマス、ソレカラ又第二ノ理由ハ國稅滯
納處分、及強制執行ノ目的トナシ得ル漁業權ヲ、是等ノ目的ニ供用シ得ラレト云フ
規定ノ意味ガ私ニハ分ラヌ、抵當權ト云フコトニナリ得ルメマシタナラバ、一般ノ民
法上ノ抵當權ノ設定シ得ラレベキモノニ對シテモ、ヤハリ斯様ナ國稅滯納處分、及強制
執行ノ目的トナリ得ルコトヲ法文ニ書カナレバナラス、ソレガ民法ノ規定ノ上ニハサウ云
フコトハナシ、甚ダオカシナ文字デアルト私ハ信ズル、第三ノ理由ハ第七條第二號ニ書イ
タル意味ガ私ニハサッパリ分ラヌ、是ガ分ルト云フ人ハ餘程豪イ方デゴザイマセウガ、私ニハ
分ラヌ、第七條第二號ノ意味ハドウ云フ意味デアラカト云フコトハ私ニハサッパリ分ハ
ラヌ、此三ノ理由ヲ以テ本案ニハ反對ヲ致シマス、即チ第二讀會ヲ開クベカラザルモノト
云フ意見ヲ提出致シマス

○議長(杉田定一君) 別段他ニ御議論モナイヤウデアリマスカラ、採決致シマス、本
案ノ二讀會ヲ開クベシト云フ御方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數デアリマス、二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○恆松隆慶君 直チニ開カレンコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り、直チニ二讀會ヲ開クニ御異議ゴザイマセ
ヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス、委員長
報告通御異議アリマセヌカ

漁業法中改正法律案

第二讀會

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 委員長ノ報告ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數ト認メマス、委員長報告ノ通り決シマシタ

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開イテ確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り、直チニ二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス、二讀會決
議通御異議アリマセヌカ

漁業法中改正法律案 第三讀會

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマシタ。日
程第十一、災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案、第一讀會ノ續、委員長海野
謙次郎君報告

第十一 災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案(大津淳一郎君外九名提出) 第一讀會ノ續(委員長 海野謙次郎君登壇)

○海野謙次郎君 災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案ノ委員會ノ經過ヲ報告
致シマス、此法案ハ明治三十九年中災害又ハ天候不良ニ因リ府縣又ハ北海道ノ全
部若クハ下云フノデアリマスガ、最初一讀會ノ際提出者ガ申述ベシタルガ如ク、本
案ハ全般ヘ亘ッテ居ルヤウデアリマスガ、實ハ青森縣ニ重キヲ措イタル、デ特別委員
中デ提出者ノ一人トシテ、又青森縣選出議員ノ一人トシテ、關君ノ說明ヲ求メマシ
タ、且政府委員ニ質問ヲ致シマス、其關君ノ說明ニ依リマスルト、青森縣ノ總反別ガ
五萬九千餘町歩アル中デ、皆無トナタモノガ二萬九百幾町歩、其地租ガ二十三萬幾
ラト云フヤウナコトニナッテ居ル、其取調ハ獨リ關君等ノ取調ニアラズシテ、縣廳ノ取調ベ
マシタモノデ、既ニ内務、大藏兩省ニモ報告ガシタル、デ斯ノ如キ多數ノ地所ガ皆無
トナッテ居ル以上ハ、前年彼ノ名高キ東北饑饉ノ際ニモ、此通りノ法律案ヲ本會デ可
決致シマシタ、ソレト較ベテ見マスルト、餘リ變ラヌ法案デ一面又政府委員ノ方ヘ
尋ネテ見マシタトコロガ、政府デハ此地租延納規則ト云フモノガアル、其法律ニ據ッテヤ
レバ宜イト云フコトデアリマスガ、併シ此案ガ兩院ヲ通過シタ以上ハ、前年モ其例ガ
アリマスルデ、政府ハ必ズ之ニ據ッテ處分ガ出來ルコトデアラウ、斯様ナ理由デアリマスル
タメニ、委員會ハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段報告致シマスガ、ドウカ此青
森縣地方ノ慘狀ヲ御洞察アッテ、本會ニ於テモ全會一致ヲ以テ可決セラレンコトヲ希望
致シマス

〔政府委員櫻井鐵太郎君登壇〕

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 本案ニ對スル政府ノ意見ハ委員會ニ於キマシテ辯明ヲ
致シタアリマスガ、災害ノタメニ收穫ノ皆無ニナリマシタ田畑ニ對シテハ、二十六年
ノ災害地々租延納ニ關スル法律、此法律ニ據ッテ十箇年以内ノ年期ヲ以テ延納ヲ許
スコトガ出來ルデアリマス、年ノ豐凶ニ依ッテ地租ハ増減セナイト云フ今日ノ地租條例ノ
趣意カラ致シマシテ、政府ハ遺憾ナガラ本案ニ對シテハ御同意申スコトハ出來マセヌカ
ラ、簡單ニ申シマス

○議長(杉田定一君) 別段御議論モナイヤウデスカラ、採決致シマス、本案ノ二讀會
ヲ開クベシト云フ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○恆松隆慶君 此案ハ政府ノ反對ガゴザイマスガ、兩院成立シナイ以上ハ毎年出ル
案デゴザイマスカラ、此場合讀會ヲ省略シテ直チニ決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り、讀會ヲ省略スルコトニ決シテ御異議アリ
マセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、委員長報告通り御異議アリマセヌカ

災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案

確定議

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定ヲ致シマシタ、日程第十一ヨリ第十四ニ至ルマデハ同一ノ委員ニ付託シテアリマス、委員長ニ併セテ報告ヲサセマス——奥野市次郎君

(奥野市次郎君登壇)

○奥野市次郎君 報告ヲ致シマス、北海道ニ市制ヲ施行スル法律案外二件ノ委員會ノ經過ト結果ヲ簡略ニ述ベマスガ、此三案ハ一括シテ審査ヲ致シマシタ、極メテ皆簡略ナ案デス、併ナガラ案ハ簡略デアリマスケレドモ、其繁ルところハ多少注意スベキ事柄デアルト信ジマス、少シ政府委員ト折衝シタコトヲ簡單ニ述ベマス、是ハ明治二十一年ニ始メテ市制ヲ施行セラレタル當時ニハ、北海道ハ内地ノ各地ノ如クニ市制ヲ布クケニ進歩シテ居ラナカッタモノデアリマス、市制施行地中ニ這入リテ居ラナカッタノデアル、然レドモ其後小樽、札幌、函館等ニ於テハ内地ノ市制ヲ施カレタル土地ト同ジ位ノ人文、其他總テノモノガ發達進歩シテ來タノデアリマス、政府ハ勅令ヲ以テ、特ニ市制ニ均シキところノ區別ヲ施カレタノデアリマス、而シテ此區別施行後ニ於ケル實績ヲ見マス、内地ニ於ケル市制ヲ施カレタル土地ト同ジヤウニ發達ヲ見テ居ルノデアデ、今日ニ於テハ或然ニ於テハ却テ内地ノ某々ノ地ニ較ベテ見マス、北海道三區ノ方ガ寧ろ發達シテ居ルモノ云フウチ實績ガアリマス、今日北海道ニ市制ヲ施クト云フコトハ、適當ノ處置デアル、斯ウ云フ趣意ニ依ッテ北海道ニ市制ヲ施カウト云フ法律案デアリマス、而シテ北海道ニ市制ヲ施行スルコト云フ結果ト致シマシタ、北海道ニハ北海道會ナルモノガアル、而シテ北海道會ナルモノハ府縣會ト同一ノヤウナモノニナッテ居ルノデアリマス、是亦北海道ト内地トハ其施政ノ方針ガ今日マデ異ッテ居ッタモノデアリマス、府縣會ト同一ノ權限ハ、此北海道ニ任シテナカッタノデアリマス、既ニ北海道ニ市制ヲ施イテ差支ナシト云フ位ニ發達シタナラバ、北海道會其モノニ對シテモ、内地ノ府縣會ト同一ノ權限ヲ與ヘルト云フコトニ致シ、之ニ關聯シテ、北海道會法中改正法律案ガ提出ニナッタノデアル、北海道ニ參事會ヲ置イテ、其道參事會員ハ、北海道廳長官、北海道廳高等官二名、名譽參事會員六名、是ガケノ合議體ノ參事會ヲ置ク、之ニ對スル總テノ權限、總テノ手續ハ、府縣制ノ條項ヲ適用スルコト云フコトニナッテアルノデアル、此自然ノ結果トシテ、北海道地方費法中ニモ改正ヲ要スル簡條ガアルノデ、ソレニモ併セテ改正ガ加ハッタノデアル、北海道ノ地方費ノ中ニ但シ其ノ規定中ノ下ノ府縣參事會ノ職務ハ北海道廳長官之ヲ行ヒト云フコトガアル、ソレヲ削ル、府縣參事會ノ如キモノガ北海道ノ參事會ニ出來ララ、其權限モ自然府縣參事會ノ如クデナケレバイカヌト云フ、自然ノ結果、此三案ガ關聯シテ出來タノデアリマス、政府ハ之ニ對シテ政府委員ハ御見エニナッテ居リマセヌカ、居リマセヌカ知リマセヌカ、政府委員ト折衝致シマシタコトヲ、政府委員ハ市制ヲ施行ト云フコトニ付イテハ贊成——ハッキリ贊成トハ申サレマセヌケレドモ、差支ハナインノデアル、ケレドモ北海道全體ニ對シテ自治ヲ與ヘル、即チ府縣制ト同一ノモノヲ施行スルコト云フコトニ付イテハ、マダ十分ノ研究ヲ見テ居ラヌ、即チ此時期ニ於テ、今日ソレダケノコトヲ決行シテ善イヤラ惡イヤラト云フコトハ未定デアル、此點ニ於テハ政府ハ同意ヲセヌト云フコトハ、表明シテ居ラレルノデアリマス、政府ハ北海道ニ向ッテ内地同然ノ自治ヲ與フルトコロノ時期ガ早イト言ハレルケレドモ、委員會ノ見ルトコロハ、北海道ニ自治ヲ與ヘルコトハ、時期既ニ熟セリト云フ譯デ、政府ト折衝スル餘地ガナカッタ、ソレデ一回ノ委員會ヲ開イテ、直

チ三案共即決シテ、原案通り可決致シマシタガ、但北海道會法中改正法律案、北海道地方費中改正法律案、此二案ニハ修正ヲ致シマシタ、其修正ハ此法律案ノ末項ニ、北海道ニ市制ヲ施行スル法律案ノ後トニ付ケテアルト同ジ字句ヲ加ヘタ、附則本港施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム、此附則ヲ他ノ二法律案ニ附加ヘテ、滿場一致ヲ以テ可決致シタノデアリマス、願クハ委員會ニ於テ決定致シマシタ通り、本院ニ於テモ滿場一致ヲ以テ御贊成アラシコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 日程第十二、北海道ニ市制ヲ施行スル法律案第一讀會ノ續

第十二 北海道ニ市制ヲ施行スル法律案 第一讀會ノ續(委員長)

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開ケレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 採決致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クト云フニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ略シテ、委員長ノ報告通り決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ確定スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス、委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

北海道ニ市制ヲ施行スル法律案 確定議

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是レニテ本案ハ確定致シマシタ——日程第十三、北海道會法中改正法律案、第一讀會ノ續

第十三 北海道會法中改正法律案(內山 第一讀會ノ續(委員長))

吉太君外六名提出)

○議長(杉田定一君) 別段御議論ハナイヤウデアリマス、採決ヲシマス——本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○恆松隆慶君 是ハ直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ノ順序ヲ略シテ確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り、直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ確定スルニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス、委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

北海道會法中改正法律案

確定議

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマシタ——日
程第十四、北海道地方費中改正法律案、第一讀會ノ續

第十四 北海道地方費中改正法律案(内 山吉太君外六名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(杉田定一君) 別段御議論ハナイヤウデアリマスノデ採決シマス、本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○恆松隆慶君 本案モ直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ確定セシレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ確定スルニ御異議アリマセヌカ
○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス、委員長報告通り御異議アリマセヌカ
報告通り御異議アリマセヌカ

北海道地方費中改正法律案

確定議

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス——是ニテ本案ハ確定致シマシタ——日程第十五、府縣制中改正法律案第一讀會ノ續、委員長植場平君報告

第十五 府縣制中改正法律案(植場平君)

第一讀會ノ續(委員長報告)

(植場平君登壇)

○植場平君 唯今問題ニナリマシタ府縣制中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、委員會ハ二回開キマシテ、最初ノ一回ニ於キマシテハ、委員ト政府者間ニ屢々折衝ヲ致シテ、親切ニ問答ヲ致シタノデゴザイマス、次ノ會ニ於キマシテ討論ニ移リマシテ、修正可決ヲ致シタノデゴザイマス、而シテ此改正案ノ第五條、及第六條ハ、全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、其次ニ移リマシタ場合ニ、委員中ノ大熊三之助君カラ、現行ノ四十七條ニ一項ヲ加ヘルト云フ動議が出マシタ、ソレハ現行ノ府縣制四十七條ハ、役員選舉ニ關係スルコトコロノ條規デアリマス、ソレデソレニ一項ヲ加ヘマスノハ、現行法ニ依リマス、年長者ヲ以テ其議長選舉ノ管理者トシテ居ルノデアリマス、年長者ガ議長選舉ノ場合ニ議事ノ管理ヲスルコトニナッテ居ル、然ルニソレハ段々弊害ガアツテ、非常ニ紛雜ヲ極メルト云フコトガ、既ニ數ヘ切レナイ程アルヤウデス、故ニ是ニ於テ其修正ガ出マシタ、其修正案ハ改選ノ場合ニ、議長選舉ハ府縣知事ノ管理ニスル、其文字ハ斯ウ云フコトニナル現行ノ四十七條ノ第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ「改選期ニ於ケル議長ノ選舉ハ府縣知事ノ管理ニスル」斯ウ云フ一項ガ加ヘタイト云フ動議カ出マシタガ、之ニ付イテモ委員會間ニ問答ガアリマシタ、其結果全會一致ヲ以テ可決致シタノデアリマス、ソレカラ原案ノ五十條ノ改正ト云フノハ、是ハ削除ニナリマシタ、其削除ノ理由ハ臨時府縣會ニ於テ建議若クハ意見書ヲ提出スルコトヲ議員ニ許シタ、場

合ニハ短期ノ議會ニ於テサウ云フ問題ガ續出スル、其タメ本問題ヲ議スル餘地ノナイコトニナリハセヌカト云フ理由デ削除スルコトニナリマシタ、六十九字ノ改正案、即チ原案ハ參事會員ガ議案ノ審査及境界爭論等ノ場合ニ於テ必要ト認メル場合ニハ、實地臨檢ヲセシムル途ヲ開キタイト云フ改正アル、之ニ付イテモ段々議論ヲ開ハマシタ結果、是ハ二對スルハ以テ可決ヲ致シマシタ、其次ハ附則ノ改正案實施期等ニハ議論ナク滿場一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタカラ、本會ニ於テモ委員會決議通り御賛成ヲ願フ次第デアリマス

○議長(杉田定一君) 別段御議論モナイヤウデアリマスカラ採決致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ
○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 恆松君動議ノ如ク、直チニ二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ
○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ

府縣制中改正法律案

第二讀會

○議長(杉田定一君) 第五條、第六條ヲ議題ニ供シマス、修正ガアリマセヌ、原案通り御異議アリマセヌカ
○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ
○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ
○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ
○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ
○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ
○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ

結果多田君ノ刪除説ガ可決ナタモト議長ハ認メマス、次ハ第五十條第三項但書ノ改正、是ハ委員會デ刪除ニナツテ居リマス、委員長報告通り御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ナシモノト認メマス、第六十九條ヲ議題ト致シマス、大熊君

○大熊三之助君 簡單故此處デ申シマス、本員ハ此「府縣參事會ハ必要ト認ムルトキハ實地ヲ調査スルコトヲ得」ト云フ規定ヲ刪除シタイ考ヘデアリマス、其理由ハ本改正ノ如クスルト、第一ニ猥リニ出張スル弊ヲ生ズル、第二ニハ之ヲ以テ政争ノ利器ニ供スル弊ガアル、第三ニハ行政ノ敏捷ヲ缺ク弊ガアル、ソレ等ニ付キ詳シク理由ハ述べマセヌデモ御承知ノコト、存ジマス、是等ノ弊アデ得ルトコロハ唯府縣費ガ膨脹スルニ過ギヌノデアリマス、果シテ實地ヲ調査スル必要ガアルナラバ、私費デ以テ自ラ調べ意見ヲ述ベルガ宜イノデアアル、之ニ付イテ弊ノアルハ參事會員其人ヲ得ナイタメデ、其人ヲ得レバ弊ハナイト申シマスガ、今日ノ狀態ニ於テハドウシテモ本員ハ弊害ガアルト存ジマス、故ニ今日ニ於テハ其時機デナイト云フ理由デ刪除ヲ主張致シマス、尙此案ハ全體ニ於テ本員ガ熱心賛成スルモノデアデ、縣會議員ノ數ヲ増ス點、或ハ被選舉權資格ヲ選舉權ト同一ニスル點、是等ハ是非改正ヲ希望スルノデアアル、其結果本案ハ貴族院ニ參ツテモ全會一致デ通過スルコトヲ希望スル、又政府ニ於テモ歡迎セラル、コトヲ希望スル、然ルニ政府委員ノ極力反對スルコトヲ加ヘルノハ、此案ノ運命ニモ關スルト思ヒマスカラ、即チ本案ノ全體ノ趣意ヲ歡迎スル意味ニ於テ、之ヲ刪タガ方ガ宜カラウト考ヘマス

○議長(杉田定一君) 大熊君ノ刪除説ニハ定規ノ賛成ガアリマスカ

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 定規ノ賛成ガアルト認メマス

○植場平君 私人原案賛成ノ意見ヲ簡單デアリマスカラ、此席カラ申シマス、反對者ノ意見ヲ唯今伺ヒマス、此條項ヲ有シタナラバ猥リニ出張スル、府縣費ヲ濫用スルト言ハレガ、斯様ノコトガドウシデアリマス、苟モ職責ヲ持ツテ居ル者ガ猥リニ出張ヲ企テ、府縣費ヲ濫用スルト云フコトガアリマスカ、又ソレニハ府縣會ガ監視スル權利ガアルカラ左様ノコトハ御心配ノタメニ本項ノ削除ヲ望ムト云フコトハ、是ハ私ハ理窟ニナラヌト思フ、ソレカラ本員ガ此條項ヲ存シテ置ク、此條項ノ成立ヲ望ムト云フコトニ付イテ一言致シマスガ、元來府縣參事會ナルモノハ如何ナル組織デアルカト云フコトヲ少シク御考ヲ請ヒタイ、政府ノ當局者ハ府縣參事會ナルモノハ府縣ノ代議ノ機關デアアル、斯様ニ論ジマスガ、或ハサウ論ズルコトモ出來マセウ、併ナガラ本員ノ考ヘルトコロニ依ルト、府縣ノ參事會ノ組織ト云フモノハ、純粹ナル府縣ノ代議機關ト云フベキモノデハナイ、府縣參事會ノ組織ハ名譽職參事會員ト、府縣ノ高等官ト併セテ組織ニナツテ居ルノデアアル、故ニ府縣會ノ議スベキコトノミデナクシテ、境界争論ノ起リマシタ場合ノ如キ、訴願ノ起リマシタ場合ノ如キ、裁決セシムルノ權利ヲ有シタデアアル、サウ云フ境界争論等ノ起リマシタ場合ニ、書類審査ヲ爲スタメニ往々誤ルノデアアル、斯ウ言フト政府當局者ハ左様ナル調査ノタメニ必要ガアルナラバ、知事ニ請求シテ御調ニナツタラ足ルデハナイカト言ハレタガ、左様ナ立派ナ間違ノナイ知事及屬官ガ居ルナラ宜イガ、サウ萬能ノ知事モ居リサウニモ見エナイ、故ニ職責ヲ以テ審査裁定スル權利ヲ有ツテ居ル——責

任ヲ有ツテ居ル、此府縣ノ參事會ハ已レ實地ニ臨ンデ審査スル必要アル場合ニハ、必ズ出張セシメテ、完全ナル調査ヲセシムルト云フコトハ、私ハ當然ノコトデアルト思ヒマス、故ニ此議論ヲ述ベマシテ本案ノ成立ヲ希望致スノデアリマス

○議長(杉田定一君) 採決致シマス、大熊君ノハ削除デアリマス、因デ原案ニ付イテ採決致シマス、原案ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數デアリマス、原案ガ可決ニナリマシタ

〔少數「異議アリマス」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) ソレデハ反對ノ御方ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○議長(杉田定一君) 少數ト認メマス

〔多數「異議ノ申立ラシマス」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 原案賛成ヲ多數ト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 附則ハ原案ノ通り、御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハ無イト認メマス、是ニテ二讀會ハ結了致シマシタ

○恆松隆慶君 直チニ三讀會ヲ開キ、二讀會決議ノ通り確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 直チニ三讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 二讀會ニ於テ決議ノ通り御異議アリマセヌカ

府縣制中改正法律案

第三讀會

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハ無イト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマシタ、次ハ日程第十六、鑛業法中改正法律案第一讀會ノ續——委員長萩野左門君報告

第十六 鑛業法中改正法律案(丸山嵯峨)

第一讀會ノ續(委員長)

〔萩野左門君登壇〕

○萩野左門君 本案ノ委員會ノ成行ヲ報告致シマス、此案ハサマデ入込シタ事柄デハゴザイマセヌケレドモ、何分新規ノ事實ノアルガタメニ委員會デハ相當ノ手數ヲ執リマシタ、ソレガタメニ當局ノ政府委員ノ説明モ求メ、又鑛山等ノ技術家ニモ質問致シマシタ、何分是ハ鑛業法中ニ新規ノ事實ガ一ツ加ハルノデアリマス、其事柄ハ天然瓦斯、此一項ヲ鑛業法ニ加ヘナケレバナラヌ必要ガ起ツテ參リマシタノデ、ソレガタメニ此案ガ或ル代議士中ヨリ提出ニナツタデアリマス、段々審査ヲ致シマシタ結果、天然瓦斯ナルモノハ二様ノ性質ヲ有ツテ居ル、一ハ石油瓦斯、一ハ沼氣瓦斯、此二ツノ物ガアル、此二ツノ物ノアル場所ハト云フト、石油瓦斯ハ名前ノ如ク重モニ石油ヲ採掘スルモノニ伴ッテ發シテ成ル、ソレカラ沼氣瓦斯ト云フハ石油ニ伴ハナイ別段ノモノデアルト云フ技術家

ノ説明デゴザイマス、然ルニ今日實際制鐵ヲ付ケナケレバナラヌ必要ノ起リマシタノハ、新潟縣デ昨今迄々發展シテ居リマス石油事業、此事業ニ瓦斯ガ伴ッテ居ル、之ヲ今日ニシテ制鐵ヲ付ケナイト、御互ニ石油鑛業者ニモ不便アル、又必要ガアッテ瓦斯ヲ利用シタト云フ人ニモ不便アル、故ニ此瓦斯ヲ鑛業法中ニ加ヘテ、鑛業ノ一種類ニ致シタト云フコトアリマス、併ナガラ沼氣瓦斯ハ之ヲ取除ケテアリマス、サウ云フコトニ致シマシテ改正ヲ致シタ譯デアリマス、尙將來此案ガ通過致シマシタ後ノ、參考ニ申シテ置キタイノハ、現在長野縣上諏訪其外附近、新潟縣下新瀉市、其外附近ニ即今往々瓦斯ナルモノガ出テ居リマス、是ハ石油瓦斯デハナイ、石油瓦斯デナイモノハ此制鐵ヲ受ケス、別段ノモノニ致シマシテ石油瓦斯デケラ法文ニ定メテ譯デアリマス、所ガ是ハ法文ノ體裁ヲ爲サシメタマデ、意味ノ上ニハ別段ノコトハゴザイマス、石油瓦斯ガ一種ノ鑛物ニナル、ソレカラ是マデ既ニ採掘シテ使ッテ居リマスモノ、權利ヲ抑ヘマスノハ甚ダ宜シクナイコトデ、デ是マデ使用シツ、アルモノハ居出レバソレデ足ルコトニ致シ、新ニスルモノハ此制鐵ヲ受ケル、斯ウ云フコトニ文章ヲ單簡ニ分リ易イヤウニ改メタノガ修正ノ要點デゴザイマス

○議長(杉田定一君) 別段御異論モ無イヤウデアリマスカラ採決シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開キ、別段異論モアルマイト思ヒマスカラ、讀會ヲ省略シテ確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ確定スルニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス

鑛業法中改正法律案

確定議

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ノ確定致シマシタ、日程第十七、鐵道計畫ノ速成改善ニ關スル建議案ヲ議題トシマス、委員長佐竹作太郎君報告

第十七

鐵道計畫ノ速成改善ニ關スル建議案(佐竹作太郎君外百五十七名提出)

(委員長報告)

(佐竹作太郎君登壇)

○佐竹作太郎君 本案ノ委員會ノ經過ト結果ヲ報告致シマス、本案ハ都合五回開會致シマシテ、國務大臣及政府委員ノ出席ヲ求メマシテ、現在及將來ノ鐵道經綸ニ付キマシテ、周到ニ質問ヲ致シ、又ソレニ對シテ政府ノ答辯ヲ得タデアリマス、其結果トシマシテ建議案ヲ修正致シマシテ、全會一致ヲ以チマシテ修正建議案ヲ可決致シタデアリマス、其修正ヲ致シマシタ重モナルモノハ何デアルカト云ヒマスレバ、政府ノ未成鐵

道ノ計畫ニ對スル年限ガ、四十一年度ヨリ向フ十二箇年トアルノデゴザイマス、之ヲ六箇年ニ短縮致シタデアリマス、十二箇年トアルモノヲ六箇年ニ短縮スルト云フコトハ、如何ニモ急激ノヤウデアリマスガ、戰後國運ノ發展ニ伴フテ、設備ヲ要シマスモノハ何デアルカト申シマスレバ、交通機關ノ設備ヲ完全ニ致シマスルヨリ他ニ急ナルモノハナイト認メマシテ、斯ノ如ク短縮ヲ致シマシタ次第デアリマス、今一ツハヤハリ此政府ノ豫定計畫ノ以外ニ於キマシテ、尙必要ナル線路ガアルト認メマス、ソレハ其二三ヲ申シマスレバ、四國、中國、東北、北海道等ニハ尙此國家ノ交通機關トシテ必要ナル線路ガ未ダ調査ガ濟マヌデ居リマスルヤウニ認メマス、尙其中ニハ比較線トシテ尙調査サレベキモノモアラウト思ヒマスルノデ、此等ニ對シマシテハ速ニ調査ヲセラレテ、次期ノ議會ニ併セテ提案セラレンコトヲ望ムト云フコトヲ加ヘマシタデアリマス、修正ノ重モナル點ハ先ア今申上ゲマシタ二點ニ過ギヌデアリマスガ、之ニ對スル政府ノ答辯セラレマシタコトモ御參考ニ申上ゲマスガ、此修正建議案ニ對シテ、國務大臣ヨリ政府ノ意見トシテ述ベラレマシタ大要ハ、既設鐵道ニ對シテ改良ヲ加フルコトニ付イテハ全然同意デアルケレドモ、未設計畫ニ對シテ十二箇年トアルヲ六箇年ニ短縮スルト云フコトハ、元々政府ハ將來ノ財政經濟ヲ豫想シテ十二箇年ト定メタモノデアルカラ、ソレヲ俄ニ六箇年ニ短縮スルト云フコトニ付イテハ、今直チニ同意ヲ表スルコトハ出來兼ネル、サリナガラ未成鐵道ヲ速成スルノ精神ニ至ッテハ、建議案ト全ク同意デアル、斯ウ云フ意見デアリマス、尙委員會ニ於キマシテ、委員諸君ノ質問サレマシタコト、又之ニ對シテ政府委員ヨリ答ヘラレマシタコト等ハ、速記録ニ詳シクアリマスカラ、速記録ニ依リマシテ御諒知アラシコトヲ冀ヒマス、以上報告致シマシタ通アリマスカラドウカ全會一致ヲ以テ委員會ノ決議ノ通り可決確定セラレンコトヲ偏ニ希望致シマス、

(「贊成贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 大岡育造君

(大岡育造君登壇)

○大岡育造君 此建議ニ贊成ノ意味ヲ敷衍シテ置キタイト思ヒマス、實ハ建議デアリマスカラシテ、深ク討論ヲ要セヌヤウニモ考ヘマシタケレドモ、此建議ニ含マレテ居リマスル將來支出スベキ金額ハ、三億八千五百萬餘圓、約四億萬圓程ノ金高ニ當ル此四億萬圓ノ金額ヲ支出スル方法ニ就イテ吾々ハ建議ヲ致スデアリマスカラ、此建議ヲ鄭重ニシ、且將來ノ希望ヲ明カニ致シタイト思フデアリマス、唯今委員長報告致サレマシタ通ニ、政府ニ於テハ大體ニ異論ハナイ、併ナガラ之ヲ實行スル上ニ於テハ、明確ニ時ヲ改メル等ノコトハ爲シ能ハヌト云フ答辯デアリマス、私ハ之ニ關シテ少シク政府ニ反省ヲ促シタイト思フデアリマス、但シ此場合ニ一言致シタク思ヒマスルノハ、決シテ政府ニ反對スルノデハナイ、政府ノ計畫ニ反對スル譯デハナイノデアル、先日來委員會ニ於キマシテ熱心ニ主張致シマシタ其聲ノ高カッタメカ、如何ニモ政府ニ反對スルカノ如ク誤解セラレタル趣デ、新聞紙等ニモ其跡ガ見エマスガ、是ハ本員頗ル迷惑ヲ感ズル點デアル、本員ハ決シテ政府ノ此交通政治ニ對シテノ遣リ口ニハ、更ニ反對ヲ持タヌデアリマス、唯此場合ニ於テ成ルベク微力ヲ盡シテ、後援トナッテ國利民福ヲ舉ゲルコトヲ期スルデアリマス、西園寺內閣ノ成立シテヨリ日尙淺クシテ、今日ニ至ルモ尙一年

少シ餘ニシカ過ギナイノデアリマス、此短時間ニ困難ナル戰後經營ノ衝ニ當テ、而モ其内閣成立ノ最初ニ於テ、最モ困難トシタルコロノ、二十年來宿題トナテ居ルコロノ鐵道國有ノ法ヲ斷行セラレタ法ヲ斷行セラレタ點ニ於キマシテハ、蓋シ特筆大書スベキ成功デアルト思フノデアアル、是ハ諸君ト共ニ吾々ガ大ニ誇リタルコロデアアル、斯ウ一日決シマシテモ、之ヲ又行フコトハ頗ル困難デアアル、是モ十年ト云フ、確カ長イ期限ヲ貴族院カラ附セラレタニ拘ラズ、昨年中ニ於テハ早ヤ大體ハ買收シテシマッタ、京釜、甲武、日本、北海道ノ炭礦ハダス、山陽鐵道マデ、最早九州一ツヲ取レバ、鐵道ノ要部ハ買收シ終ルト云フマデニ運シテ居リマス、ナカノムツカシイコト、私ハ信ズル、何處ニ行キマシテモ、鐵道ノ大會社ハ恰モ一箇ノ政府ヲ爲シテ居ル位ノ勢デアアル、此節日本鐵道ノ殘務ニ於テサヘモ、アノ紛擾ヲ見ルコトヲ以テ考ヘマシレバ、是等ノ大會社ヲ、容易ニ圓滿ニ政府ガ買收シ終ラセタコト云フコトハ、誠ニ其勞ヲ多クスルニ足ルト思ヒマス、況ヤ鐵道買收ノ初メニ於テハ、一二年ノトコロハ損失サレベク計算サレテ居タモノガ、今日承ハレバ、昨年ノ四箇月間ニ於テ、約六十一萬以上ノ利益ヲ收メ得タト云ヒマス、然レバ一年ニハ二百五十萬圓ノ利益スル譯デアリマス、損失ト見レベキモノガ二百五十萬圓ノ利益ヲ得タトスレバ、是ヲ元金ニスレバ五萬金デ五千萬圓以上ヲ運用スルカラ増シタ譯デアアル、斯ノ如キ實際ノ狀況ヲ見マスルデアリマスカラシテ、決シテ此遞信省ニ對シテ、特ニ私ガ攻撃スル理由ハナイノデアアル、カラ遣リ口ハ頗ル手際ト思ヒマスカラ、此手際アル内閣ノ大臣ニ對シテ、大ニ一ツ奮發ヲシテ、將來ノタメニ望ムコトコロヲ建議スルデアアル、御承知ノ通ニ、吾々ガ今後ニ於テ、即チ戰後經營トシテ努ムベキコトコロハ、海陸軍ノ外ニハドウシテモ殖産興業ノ發達ノ利器タルコロノ交通機關ヲ良クシナケレバナラス、海陸軍ノ成功ハ驚クベキ成功ヲ致シタルデアリマスガ、國富増進ノ、即チ此生産ノ事業ハ、未ダ以テ他國ト爭ウテ勝チ得タリト云フベカラズデアアル、今後ハ吾々ハ此生産ノ競爭ヲシテ、而シテ勝利ヲ得ルコトニ努メナケレバナラス、諸君其敵ハ誰デアアル、競爭ノ對手ナルモノハ朝鮮デモナケレバ、無論支那デモナイノデアアル、歐羅巴デアリ、亞米利加デアアル、此亞米利加歐羅巴等ノ先進國ト競爭スルニ於キマシテハ、先ヅ憂フベキモノハ交通ノ利器デアアル、日露ノ戰爭ガ、アノ勝利ヲ得タト云フコトモ、種々ナ原因ガアリマセウケレドモ、我陸海軍ガ百難ヲ排シテ「ベスト」ヲ採用シタト云フコトニアルノダ、最上ノ改良ヲ意ラズシテ、遂ニアノ大勝利ヲ期シ得タト言ハナケレバナラスノデアアル、然レ今此地ノ殖産政治ニ於テ、果シテ最良ノ方法ヲ盡ク決用シテ居ルヤト考ヘテ見マスルト、未ダ不十分デアルコトヲ私ハ考ヘルデアリマス、甚ダ最近ノ例ヲ取ル――諸君モ既ニ時ヲ長ク辛抱セラレタメニ御退席ト思ヒマスガ――例ヘバ近ク總選舉ニ向ヒマスガ、宣言書モ立派ニ出來テ、運動者モツレ――定ッダ此場合ニ於テ、反對黨ノタメニ健脚ナルコロノ馬車及人力車等ノ機關ヲ買占メラレタナラバ、其不利益ハドレケデアリマセウ、今此日本ノ殖産者ノ位置ト云フモノハ、之ト同ジデアアル、之ヲ歐羅巴亞米利加ノ交通機關ヲ利用スルコロノ人民ニ較ベテ見マシタナラバ、日本人ハ正ニ今私ガ譬ヘタル狀況ト同ジ位置ニ陷テ居ルト思ヒマス、諸君モ能ク御承知ノ通りデアリマスガ、例ヲ取ルノハ著シイモノカラ舉ゲテ申スノガ分リ易イ、今日ノ歐羅巴、亞米利加ニ於ケル最急行列車ハ、一時間ニドレダケヲ走ルカ、大概五十哩以上五十五哩ガ

其速力ノ早キヲ示シタモノデアアル、紐育カラ「シカゴ」ノ間ノ一千哩ヲ十八時間ヲ走りマシ、然ラバ是ハ一時間ニ五十五哩ヲ歩ルキマス、巴里カラ「カレ」ノ間モ亦一時間ニ五十五哩デス、殆ド一分ニ一哩ヲ走ルノガ歐羅巴亞米利加ノ急行列車ノ常デアリマス、而シテ日本ノ急行列車ハドレダケノ度合ニ行クカト云ヘバ、遺憾ナガラ約其半分デス（「知ッテ居リマス」ト呼フ者アリ）知ッテハ居リマスガ、是ニ於テ吾々ハ研究シナケレバナラスノデアアル、一時間ニ於ケル半分ハマダ忍ブベキデアリマスガ、之ヲ積ンデ一箇月ニナレバ十五日デ人ハ仕事スルノヲ、吾々ハ三十日ヲ費ヤサナケレバナラス、人ハ一箇年ヲ費スベキコトニ、吾々ハ二箇年ヲ費ヤサナケレバナラス、位置ニ居ルノデアアル、之ガタメニ殖産者ハ無用ナル金利ヲ拂ハナケレバナラス、無用ナル倉敷ヲ拂ハナケレバナラス、斯ノ如キノ損失ヲナクシテ遺ルコトヲ努メナケレバ、彼ノ歐羅巴、亞米利加ノ生産者ト競爭シテ、低廉ナル品物ヲ送り出スコトガ出來ナイノデアリマス、今日日本ハ確カニ諸君ガ知ッテ居ラル、通ニ、半分ノ速力ヲ保持タヌコトヲ運輸機關ヲ以テ、倍ノ力ノアルコロノ運輸機關ヲ持ツ生産者ト爭ッテ、果シテ勝チ得ルデアリマセウカ、實ニ私ハ是ハ憂フルコトデアアル、是ガ併ナガラ唯此人ノ上ノ間ハツレ程デモナイノデアリマスガ、是ガ荷物ノ上ニ於テアルノガ、實ニ私ハ遺憾トスルノデアアル、羅歐巴、亞米利加ニ於テハ貨物ヲ大事ニ扱フコト、尙此人ヲ大切ニ扱フガ如クスルノデアアル、其一例ヲ舉ゲテ申シマスレバ、亞米利加デハ客車一臺ニ對シテ貨車ガ三十七臺ニ當テ居リマス、日本ノ今日デハ大分進シテ來マシタガ、ソレドウカト云フト、客車一臺ニ對シテ貨車ハ五臺弱デス、一臺ニ對スル五臺弱ト一臺ニ對スル三十七臺ト其差異ニ大ナルモノデアアル、而モ其一臺ナルモノガ大層速フ、日本ノ貨車ハ一臺ガ五噸カラ七噸ノモノガ多イノダ、然レ亞米利加ノ貨車ハ二十噸カラ五十噸ノモノガ通例デアアル、二十噸カラ五十噸ノモノト、五噸カラ七噸ノモノト、其大キサハ斯ニ違フ、而モソレガ一ツハ客車一臺ニ對シテ五臺、客車一臺ニ對シテ亞米利加ハ三十七臺、斯ウ違フノデアリマス、品物ヲ容易ニ輕便ニ運搬シテ低廉ニ人ニ配付スルコト云フコトノ便否ノ違方ハ此ノ如キモノデアリマス、之ヲドウツ速ニ改善ヲ加ヘテ、我國民ノ生産力ノ便宜ニナルヤウニシテ貰ヒタイト云フノガ熱心私ノ主張スルコトデアアル、併ナガラ此仕事タルヤ、今ノ政府デ仕掛ケタコトデアリ、明治ノ初年カラ始メタコトガ是ニ至ッタノデアリマスカラ、之ヲ改良スルノハナカク容易ナコトデアリ、第一ニ廣軌鐵道ノ法ヲ採用スルカ、サウスルト悉クノ車ヲ皆機關車以下ヲ取換ヘナクテハナラスト云フコトニナル、然ラザレバ又茲ニ四線ノ法ヲ採ルカ、例ヘバ東海道、東京カラ神戸ノ如キ所ニハ、今ノ複線ト云フ位デハ甚ダマダ利イノデアアル、モウ二線中ニ敷イテ急行列車ノ非常ニ速ニ行ケルヤウニシマスレバ、ソレハ五十哩ヲ走ルコトハムツカシイカモ知レヌケレドモ、マダ餘程早ク運ブコトガ出來ルノデアリマス、凡ソ斯ウ云フ仕事ニ付テ出來ルダケ改良シテ貰ヒタイ、所ガ政府ノ方デハ年限ヲ切テヤリマスカラ、改良費ニ充テ、アル金ガ年々五百萬圓デス、向フ十二年間、今年カラ十二年ニナリマスガ、十二年間ニ年々五百萬圓、此五百萬圓ヲ以テ右ノ如キ大改良ヲナスコトハ甚ダ私ハ難カラウト實ハ思フ、サウスルト大改良ヲスルコトガ出來ズシテ、年々僅カツ、ノ改良ヲスルニ過ギナイ、十二年間ヲ繰上ゲテ六年ニスルコト云フコトハ、詰リ此點カラ私共ハ主張シタルデアアル、ソレカラ又延長ノ線路ノ如キモ政府ハ計畫ヲシテ二億五千萬圓カ六千萬圓デケ使フノ

デス、是迄ノ所謂二期線ナルモノハ皆數ヘテアルコトデアリマス、ソレガ十九線バカリアッテ、日本國中大概行互ルヤウニナル、戰後ノ今日此非常ナル國費多端ナル際ニ於テ、二億六千萬圓ト云フヤウナ大金ヲ玆ニ數ヘテ此計畫ヲセラレタコトニ付イテハ私ハ甚ダ多謝スル、併ナガラ是モ十二年ノ後ニ漸ク成功スルコト、即チ今年カラ云ハバ十二年ノ後ニ成功スルコトハ、最モ長キニ過ギルト私ハ思フデアアル、政府ニ於テハ金融ノ都合モアリ、且工銀モ考ヘナケレバナラヌト云フコトデアリマス、是ハ一應サウデアラウト思ヒマス、併ナガラ今日日本ハ勞力ト云フモノハ十分ニ餘ッテ居ル時代デアアル、現ニ諸君、滿洲ニ向ッテ百万ノ軍ヲ出シタ、アノ精兵壯年ヲ出シタ其後トニ於テ日本デハ農商工業ニ實際差支ナク往ッテチヤアリマセヌカ、然ラバ此百万ノ人ト云フモノ、勞力ハ以テ新シキ事業ニ使フニ足ルデス、之ヲ内地ニ使フカ、之ヲ外國ニ向ケルカ、免ニ角此勢力ナルモノハ日本ガ一ノ事業ニ差向ケテ宜イデケ餘デ居ルコトハ認メテ差支ナイノデアアル、誰デモ日本ノ人口ガ増殖シテ此勢力ハ外ニ向ッテ伸ビナケレバナラヌ、何處カニ伸ビナケレバナラヌト云フコトヲ認メルノハ、是等ニ依ッテモ尤ナト云フコトガ分ルト思ヒマスガ、果シテ今日外ニ出ルコトガ出來マスカ、移住ノ方法ノ如キモ、先日外務大臣ノ答ヘタコロニ依リマスレバ、擴張セラレルコトハ知り得ズシテ、寧ロ收縮セラレルコトヲ忍バナケレバナラヌ、有様ニ聞イタノデアリマス、是ダケノ多クノ力ノアルモノヲ今日二用井ナイノハ、私ハ甚ダ遺憾千萬ト思ヒマス、之ヲ全國ノ新事業ニ使フコトハ甚ダ經濟デアラウト思ヒマス、又物價ガ騰貴スルコト云フコトヲ大藏大臣ガ言ハレマシタガ、物價ハ到底低落スベキモノデハナイ、今後年々歳々世界ノ趨勢ト伴ッテ増加シテ往クノデス、之ヲ六年ニ仕上ゲルト、十二年ニ仕上ゲルトデハ、必ズ十二年後ノ方ガ高クナリマス、然ラバ廉價六年ノ間ニ仕上スルコトハ經濟ニナル、而シテドウカト云ハバ六年後ニハアレダケ多クノ鐵道ヲ吾々ノ人民ガ使ヒ得ルト、使ヒ得ザルトハ、是亦大變ナ勢力ニ於テ關スルト言ハナケレバナラヌデス、且之ヲ十二年後マデ仕上ゲルト云ハバ、是モ亦誠ニ望ガアルガ如クニシテ、能ク考ヘテ見ルト是ハサウ往カヌト云フコトハ實事ニ分ル、日本ノ歴史ニ於テ御互ニ知ル如ク二十年間ニハ必ズ變動ガアルノデス、是迄二十年間ニハ一變動若クハ二變動ガアル、大事件ガアル小事件ガアル、其小事件ノアル毎ニ事業ハ停止セラレ、若クハ繰延ベラレマス、ソレ故ニ八年ト思フタ仕事ガ十年後ニモ尙出來マセヌ、唯今迄掛ッテ居ルトコロノ東海道ノ復線ガ、アレハモウ後二年掛ルサウデアリマスガ、是ハ何時極メタカト云ハバ、日清戰後ノ經營デアアル、八年計畫ヲ覺エテ居リマスガ、丁度十二年掛ッテ漸ク大成スル位ナモノデアアル、東京ニ於ケル中央停車場即チ高架鐵道ヲ敷イテ此連絡ヲ取ル事業モ是デアアル、併ナガラノ通ニ其年十年ヲ經マスケレドモ出來ナイノデアアル、是等ノ實例カラ云ハバ、六年ト繰上ゲテ、實ハ漸ク十年カ十一一年カニ出來ルト思フ位ノコトニ私ハ思フノデアリマス、政府ニ於テ無論交通狀態ヲ改良スルコトニ同意デアアル、又銳意努メテ居ルカラ大體ノ方針玆ニ急ガレタナラバ、吾々ノ希望モ玆ニ叶フコトガ出來ルデアラウト思フノデアリマス、未成線路ノ如キモ私ハ同時ニヤラレコトヲ望ム、ソレハドウカト云フト餘リ多キヲ望ムヤウデアリマスケレドモ、實ハ鐵道ノ便宜ガ非常ニ誰ニモ有益ナコトニ大キイコトニ知ラレタ今日デアリマスカラ、日本國中ノ誰ニモ與ヘテヤリタイ、今日ハ滿洲ハ固ヨリ、臺灣デモ朝鮮デモ近頃取ッテ薩哈噠ニマデ軍事費デ鐵道ガ敷イテアルデアリマセ

ヌカ、然ラバ内地ニ於ケル吾々ノ人民、開闢以來忠勤ヲ挺ンデタルコロノ此人民ニ對シテ、ソレノ業ヲ進メルガ、タメニ出來得ベキダケ、之ニ便宜ヲ與ヘルコトヲ努メルト云フコトハ、尤ナ次第デアラウト思ヒマス、尤モ政府モ是ニハ贊成ヲ表セラレタ、要スルニ政府ハ吾々ノ言フコトニ於テ不贊成ハナイケレドモ、年度ヲ繰上ゲルト云フコトニ付イテハ甚ダムツカシク言ハレ、ムツカシキコトヲ強テ責ムルノハ反對論者ノ言フガ如キ言葉デアリマスケレドモ、反對デハナイ、吾々ハ外ニ何ニモ望ムコトハナイノデアリマスガ、歐米諸國ノ班ニ列シタ以上ハ、是等ノ諸國ト兵ノミ其強ヲ同ウセズニ、富モ同ウ致シタイノデアアル、吾々ハ今日我對岸ニ於ケル排日運動モ之ヲ忍ブデス、併ナガラ彼等ト生産的ノ競争ヲシテハドウシテモ勝タナケレバナラヌト思フノデアアル、之ニ勝ツニハ思切ッテ海陸軍ガ烈士ヲ選ンタル如クニ、大改良ノ方法ヲイブレノ點ニモ講究セラレンコトヲ切望スルノ赤誠ヲ以テ、此建議ヲ提出シタ次第デアリマスカラ、何分御贊成アラシコトヲ希望致シマス

〔贊成々々〕採決々々ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 別段御議論モアリマセヌカラ採決ヲ致シマス、委員長報告通り御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、日程第十八、明治三十三年勅令第三百三十二號廢止ニ關スル建議案、榎本次郎右衛門君報告

第十八 明治三十三年勅令第三百三十二號廢止ニ關スル建議案(川島龍藏君提出) (委員長報告)

○榎本次郎右衛門君 明治三十三年勅令第三百三十二號廢止ニ關スル建議案ノ委員會ノ結果ヲ報告致シマス、委員會ハ十三日ニ開キマシテ、少數派流會ニ相成リマシテ、十四日ニ又開會致シマシテ、政府委員モ臨席ガアリマシテ、政府委員ノ意見ハ、該案ハ精神ニ於テ贊成デアルケレドモ、此第三百三十二號ノ勅令ヲ廢スルト、志願兵ノ下士ヲ減ズルニ依ッテ政府ハ同意ガ出來ヌト云フ意見デアリマス、ソレヲ出席ノ委員會中ニモ政府ノ意見ニ贊成ガゴザイマシテ、一人ノ多數ヲ以テ否決ニ決シマシタ、此段御報告ヲ致シマス

○川島龍藏君 此建議案ニ贊成ノ意見ヲ簡單デゴザイマスカラ、此席ヨリ申上ゲマス、本案ハ不幸ニシテ委員會デハ否決セラレマシタケレドモ、是ハ實ニ軍人待遇ヲ致シマスル上ニ於テ、諸君ノ御熟考ヲ願ヒ、且贊成ヲ願ヒタイノデアリマス、其譯ハ御手許ニ精シキ參考書ガ載ッテ居リマスカラ、最早述べル必要ガナイト思ヒマスケレドモ、第一政府ガ三十三年三月ニ法律ヲ以テ規定シタモノヲ、同時同刻ト云ッデモ宜シイ位ノ時間ニ於テ、勅令ヲ以テ其法律ノ精神ヲ没却シタト云フコトハ、甚ダ不穩當ナルコトデアリマス、實ニ軍人ヲ待遇致シマスルニハ、所謂武士道ナルモノヲ尊バナケレバイケマセヌ、斯ノ如ク政府自カラ出シタモノヲ商人ノ商ヒ勘定ノ如ク、恩給ヲ與フルト云フコトヲ極メテ置イテ、後カラ勅令ヲ以テ恩給額ニ當ル俸給ヲ控除スルト云フコトハ、誠ニ國家ノ爲ニ痛嘆至極デアリマス、多クノ理由ヲ述べル必要ハアリマセヌ、此點ヲ以テ此建議案ニ贊成ヲ願ヒマス

〔政府委員(石本新六君)登壇〕

○政府委員(石本新六君) 簡單ニ申述べマスガ、此案ハ既ニ昨年も出マシタノデ、此議場デ以テ御否決ニナリマシタノデゴザイマス、同一ノ案デゴザイマス、理由ハ此建議案ガ成立チマス、却テ下士卒共ノ不幸ヲ見ルコトデアリマス、所謂最良ノ引倒シト云フコトニナリマスカラ、却テ不幸ヲ招クノデゴザイマス、委員長報告通り否決セラレンコトヲ願ヒマス

〔最良ノ引倒シト云フ理由ヲ説明スベシト呼フ者多シ〕

〔政府委員(石本新六君)登壇〕

○政府委員(石本新六君) 斯ウ云フ理由デゴザイマス、今日ハ下士卒デ恩給ヲ持ッダ者ガ、判任官ニ採用サレマスルト、其俸給額ノ中カラシテ恩給額デハ差引クノデゴザイマス、恩給ハ恩給デヤリマス、一例ヲ設ケテ申シマスレバ、二十圓ノ屬官ニ採用サレタモノガ假リニアルシマス、此人間ガ若シ十五圓ノ恩給ヲ持ッテ居レバ、是ハ十五圓デケノ俸給ヲヤレバ宜シイノデス、所ガ此案ノ通ニナリマスルト、全然ドウシテモ此二十圓ヲヤラナケレバナラス、サウスルト此人ヲ採用シマシタ官界デハ非常ニ苦痛ヲ感ズル、即チ今日ハ豫算ヲ非常ニ切詰メテアリマスカラ、連モ是ノ金ヲ出シテハ雇ヘナイト云フコトガ起ル、即チ使用スルコトガ出來ナイト云フコトガ起ル、サウスルト今日マデ十五圓デ済ンデ居ル者ニ、二十圓ヲナケレバナラスト云フコトニナリマスカラ、各省豫算ガ許サナイカラ、今日マデ使ッテ居ル者モ出サナケレバナラスト云フコトニナリマス、又新タニ採用スル場合ニ於テモ、先デ十五圓デ、二十圓方ノ者ガ使ヘレバ使ッテヤラウケレドモ、若シ二十圓ヲ出サナケレバナラスト云フコトニナリマス、是ヨリモウ少シ働ケル者ヲ使ヒタイト云フコトニナリマシテ、却テ下士ナリ、或ハ卒ナリノ恩給ヲ有ッテ居ル者ガ不幸ヲ見ルト云フ結果ニナリマス、ソレデ所謂最良ノ引倒シニナリマスカラ否決アラシコトヲ望ミマス

○由布惟義君 希望ヲ述べタイト思ヒマスガ、自席ニテ御免ヲ蒙リマス、此建議案ニ對シテハ政府委員ハ最良ノ引倒シカト云フ言葉モアルノデゴザイマスケレドモ、斯ノ如ク政府ノ所信ノ法ハ、尙更院議ヲ重シテ此建議案ハ大ニ賛成ヲ私ハスルノデゴザイマス

〔採決ト呼ビ、委員長報告通りト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ハ委員會デハ否決ニナッテ居ルデアリマス、ソレデ原案ニ付イテ採決シマス、原案ニ御同意ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○議長(杉田定一君) 少數デアリマス、原案ハ否決トナリマシタ 日程第十九、製茶販路擴張補助ニ關スル建議案、委員長佐々木正藏君

第十九

製茶販路擴張補助ニ關スル建議案(松浦 委員長報告)

五兵衛君外九名提出

○佐々木正藏君 極ク簡單デゴザイマスカラ、此席ヨリ報告ヲ致シマス、本案ニ對スル委員會ハ二回開キマシテ、審議ノ末全會一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタデアリマス、此段御報告ヲ致シマス

〔賛成採決ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 別ニ御議論モナイヤウデアリマスデ採決ヲ致シマス、委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、委員長報告通り決シマス 日程第二十、司法官ノ待遇ニ關スル建議案、議案朗讀

第二十 司法官ノ待遇ニ關スル建議案(宮古啓三郎君外十一名提出)

〔書記朗讀〕

司法官ノ待遇ニ關スル建議案

現下司法官ニ對スル待遇ハ概シテ薄キニ失スルモノト認ム本院ハ政府力増俸ノ斷行及其ノ他ノ方法ヲ以テ速ニ司法官優遇ノ道ヲ講セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔宮古啓三郎君登壇〕

○宮古啓三郎君 大分晚クナリマシタカラ、實ハ詳シク申上ゲタイト思ッダノデゴザイマスケレドモ、極ク簡略ニ申上ゲマスカラ御安心シテ御聽ヲ願ヒマス、此案ノ要旨ヲ申シマス、即チ今日司法官ニ對スル待遇ガ甚ダ薄イ、因ッテ之ヲ今日ヨリモモト俸給ノ點其他ノ點ニ付イテ其致シタイ、即チ行政官ヨリモ餘リ劣ナイヤウニ致シタイト云フノガ、即チ其要旨デゴザイマス、司法官ハ御承知ノ通りニ、死シタコロノ法律ヲ活用スルトコロノ人デアラ、人ノ生命トカ財產トカニ付イテ、殆ド活殺ノ權ヲ持ッテ居ルトコロノモノデアラカラシテ、實ニ容易ナラザルトコロノモノデアラ殊ニ一昨日ノ議場ニ上リマシタコロノ刑法ノ如キハ、非常ニ刑ノ範圍ト云フモノヲ廣ク致シテ居ッテ、裁判官ノ裁量ニ任シテ居ル主義デゴザイマスカラシテ、之ヲ運用スルニ付イテハ最モ此裁判官ト云フモノニ注意ヲシナケレバナラス、若シ其人ヲ得ナイト、恰モ子供ニ正宗ノ刀ヲ持タセルヤウナコトニナルデアリマスカラシテ、是ハ餘程注意ヲシナケレバナラス、然ルニ今日此司法官ニ對スル待遇ガ實ニ甚ダ氣ノ毒ナ程薄イデアアル、其俸給ノ點ニ於テ申シマスルト、此司法官ノ試補ト云フノガ、今日ノ有様デハ無給ト云フノガ原則ニナッテ居ル、無給ガ原則デアラ、僅カニ檢事代理ヲスル場合ニ二百圓乃至五百圓ヲ給スルト云フヤウナ具合ニナッテ居ッテ、本官ニナッテモ漸ク六百圓シカ取レヌ、斯ウ云フデアリマスカラシテ、實ニ生活ニ困難ヲ感ズルヤウナ有様デアアルデアリマス、斯ウ云フ氣ノ毒ナル次第デアルコトニナルト雖モ、是ニ這入ッテ來ル者ガ無クナッテシマフ、即チ人材ヲ司法界ニ入レルコトハ連モ出來ナイコトニナッテシマフ、ソレデアリマスカラ今日ハ大學アリ卒業スル者デモ、司法官ニナラウト云フ希望ノ者ハ概シテ成績ノ惡ルイ人ノヤウナ結果ニナッテ居ルシ、又辯護士ナドモ司法官ニナルコトガ出來ルコトニナッテ居ルケレドモ、概シテ云ハバ其イ者ハ是ヘ這入ラヌヤウナ有様デアリマス、コンナ有様デアラハ實ニ司法界ノ大ニ痛ムベキ、悲シムベキ事柄デアアルカラシテ、ドウカ是カラ俸給ニ於テモ、其ノ他ノ點ニ於テモ十分ニ優遇ヲ

スル方法ヲ講シテ、サウシテ是カラハ人材ガ司法界ニ集テ來ルヤウニ、又今日居ル人材モ留マテ、安心シテ仕事スルコトノ出來ルヤウニシタイト云フノガ、即チ此案ノ趣意デアリマス

○恆松隆慶君 九名ノ委員ヲ議長指名アランコトヲ望ミマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り、議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、其通り決シマス、日程第二十一、農事改良獎勵ニ關スル建議案、朝讀ハ省略シマス——多田作兵衛君

第二十一

農事改良獎勵ニ關スル建議案(多田作兵衛君外二名提出)

(左ノ建議案ハ朝讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

農事改良獎勵ニ關スル建議案

國家ノ財源ハ國民ノ富力ニ待チ富力ノ増大ハ殖産興業ニ依ラサルヘカラサルヤ固ヨリ言フ俟タサル所ナリ況ヤ今ヤ曠古ノ大戰ヲ經テ國運ノ發展ト共ニ内外ノ經營滋々多端ニシテ國民ノ富力ニ待ツ所愈々急且大ナルモノアルオヤ乃チ知ル產業ノ保護獎勵ハ戰後經營上須臾モ忽諸ニ附スヘカラサル國家至上ノ要務タルコトヲ

夫レ農工商ノ三業ハ交互連繫シテ國家ノ命脈ヲ構成スルト雖就中農業ハ國民ノ食料ヲ生産シ工業ノ原料ヲ供給スルト同時ニ又實ニ一國元氣ノ根幹タリ之ヲ以テ農業盛ニシテ兵馬始テ強ク商工亦昌ナルハ各國皆其ノ撰ヲ一ニセサルハナシ之ヲ我カ國ノ現狀ニ徵スルニ最大多數ノ國民ハ生ヲ斯業ニ托シ百億ノ巨資ヲ擁シテ十五億ノ生産ヲ舉グ實ニシテ剛健ナル壯丁ハ主トシテ之ヲ地方ニ仰キ重要輸出品ノ大部分亦殆ト田園ノ産スル所ニ係ル斯ノ如ク農業ハ現在ニ於テ經濟上並社會上最重要ノ地位ヲ占ムルノミナラス前途尙改良ノ餘地頗多大ニシテ單ニ其ノ成績ノ確實ニ且其ノ效果ノ迅速ナル四五ノ事項ヲ限定シテ之ヲ實行スルモ年々新ニ數億圓ノ巨富ヲ開發スルコトヲ得ヘキヤ毫モ疑ノ餘地ヲ存セサルナリ是レ即本院力義ニ第二十一回及第二十二回帝國議會ニ於テ國本培養ニ關スル建議ニ際シ主トシテ農事改良獎勵ノ事項ヲ採擷シ其ノ遂行ヲ促シタル所以ニシテ而シテ此ノ希望ノ一端ハ既ニ政府ノ指針ヲ經タリト雖其ノ計畫極テ過小ニシテ未タ所期ノ半ニタモ及ハサルハ本院ノ深ク遺憾トスル所ナリ政府ハ宜ク意ヲ茲ニ致シ農事ノ保護獎勵ニ關シテ更ニ積極の方計ヲ確立シ少クトモ左記事項ニ對シテハ速ニ之ヲ實行方法ヲ講シ以テ其ノ進歩發達ヲ助成シ冀クハ國家ノ進運ニ貢獻スル所益大ナラシメムコトヲ

一、地方ニ對シテ一層金融ノ途ヲ開キ農業資本ノ潤澤ヲ期スルコト
一、耕地整理及土地改良獎勵ニ關スル計畫ヲ更ニ擴張シテ大ニ速成ヲ期

スルコト

一、重要作物ノ種苗ヲ改良シ是カ普及ヲ圖ルコト

一、蠶業ノ改良發達ヲ期スルコト

一、畜産ノ改良増殖ヲ期スルコト

一、山林制度ヲ確立シ其ノ發達ヲ圖ルコト
右建議ス

(多田作兵衛君登壇)

○多田作兵衛君 農事改良ノコトデハ詳シク諸君ニ御話ヲ致ス積リテアリマシタケレドモ、時間ガ切迫致シテ居リマス故ニ、極ク簡單ニ提出ノ理由ヲ述ベテ置キマス(「ヒヤ」)我國ニ於キマシテ農事改良程國家經濟ノ上ニ於テ益アルコトハナイト信シマス、故ニ吾等同志者ハ二十一議會、二十二議會ニ於キマシテモ國本培養ノ名ノ下ニ建議ヲ致シマシテ、政府モ其趣旨ヲ容レテ、著々改良ノ實ヲ舉ゲマスケレドモ、マダ十分ニ參ラナイノテ甚ダ遺憾ニ思ヒマスノデゴザイマス、ソレ故ニ本案ヲ提出致シマシテ、サウシテ委員會ニ於テ十分私兵提出者ノ意見ヲ政府ニ述ベマシテ、意見ヲ容レサセル積リテアリマス、故ニドウカ大體ニ於テ御贊成下サレマシテ、委員付託ニセラレンコトヲ希望シマス

○恆松隆慶君 本案ハ十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ願ヒ、其委員ハ議長指名ニ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 恆松君ノ發議ノ如ク、議長指名十八名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス——報告ガアリマス

(書記朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

第二高等農林學校位置選定ニ關スル建議案

提出者 神崎 東藏君 佐々木 正藏君 佐藤 庫喜君

石田 仁太郎君 安達 謙藏君 山口 小一君

是永 歲太郎君 大淵 龍太郎君 梅野 初實君

淺野 陽吉君

米國「ゼー」ムスタウン「博覽會出品國庫補助」ニ關スル建議案

提出者 村松 愛藏君 奥野 市次郎君 山本 繁造君

島田 三郎君 鹿島 秀磨君 松元 剛吉君

磯部 四郎君 森本 駿君

衆議院規則中改正案

提出者 田中 定吉君 久保 彦太郎君 西山 彰君

○議長(杉田定一君) 次回ノ日程ヲ報告致シマス

(書記朗讀)

議事日程 第十六號 明治四十年三月十八日(月曜日)
午後一時開議

- 第一 樺太ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案 (政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
 - 第二 公共團體課稅ノ制限ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
 - 第三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
 - 第四 統監府及關東都督府等在勤官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
 - 第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
 - 第六 統監府、關東都督府及樺太等在勤巡查看守及女監取締ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
 - 第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
 - 第八 韓國ニ在勤スル居留民團立在外指定學校職員ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
 - 第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
 - 第十 租稅其ノ他ノ收入徵收處分囑託ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
 - 第十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
 - 第十二 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(松浦五兵衛外一名提出) 第一讀會
 - 第十三 國有林野拂下ニ關スル建議案(藤金作提出)
 - 第十四 第二高等農林學校校位置選定ニ關スル建議案(神崎東藏外九名提出)
 - 第十五 米國「ゼー・ムスタウン」博覽會出品國庫補助ニ關スル建議案(村松愛藏外七名提出)
 - 第十六 (特別報告第十一號)北海道鐵道天鹽北見線工事速成ノ請願外一件 (委員長報告)
 - 第十七 (特別報告第十二號)高等工業學校設置ノ請願 (委員長報告)
 - 第十八 (特別報告第十三號)區裁判所出張所設置ノ請願 (委員長報告)
 - 第十九 (特別報告第十四號)聲劍術ヲ各學校ノ正科ニ加フルノ請願 (委員長報告)
 - 第二十 (特別報告第十七號)登記所新設ノ請願 (委員長報告)
- 議長(杉田定一君) 委員ノ指名ハ追テ公報ヲ以テ御通知致シマス、是ニテ散會致シマス

午後五時二分散會